ライオン誌日本語版委員会、グローバル指導力育成チーム(GLT/JA)共催

# 全日本ライオンズ若手フォーラム

# 参加者募集

ライオン誌日本語版委員会は2015年9月号の特集企画として、若手会員を対象としたフォーラムを開催致します。フォーラム·テーマは「逢おう！　感じよう！　つながろう！」。若手会員、新会員を中心に、クラブや地区を超えてつながり合い、共に奉仕の精神を推進する友情を育み確認しながら、ライオンズクラブの足下を見つめ直し、将来に向けた更なる発展のための熱意と問題意識を共有することが目的です。なお「若手」をうたっていますが、若手会員や他クラブ·他地区の会員と交流することで、ご自身のライオニズムを高めたい、あるいはライオンズの将来について多くの方と意見を交わしたい、とお考えの方は、年齢やライオンズ歴にかかわらず積極的にご参加ください。

**＜募集要項＞**

**日　　時**：2015年6月6日（土）11:00～17:00　グループ·ディスカッション
17:30～19:30　懇親会

**会　　場**：東京都産業貿易センター 浜松町館（東京都港区海岸1-7-8）

**懇 親 会**：浜松町スパシオ（東京都港区芝公園2-4-1　芝パークビルB館地下1階）

**参 加 費**：フォーラム2千円／懇親会費3千円

**参加条件**：55歳未満の若手会員、もしくは若手と問題意識を共有したい会員

**応募方法**：参加申込フォーム（http://goo.gl/vVoqjJ）にアクセスし、下記の必要事項を記入の上、送信してください。
（姓名、生年月日、性別、所属クラブ、入会年月、住所、電話番号、Eメール·アドレス、懇親会出欠）

**応募締切**：2015年4月20日（月）＊参加者定員400人に達し次第、応募を締め切ります

※若手フォーラムに関する問い合わせは、Eメールでライオン誌(edit@thelion.jp)へ

LION MAGAZINE IN JAPAN
April 2015, Vol.57 No.10

We Serve CONTENTS

■2015年4月号
表紙
山形県金山町
田屋の一本桜
写真／鈴木秀晃



本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

# A Message From Our President

Joe Preston
Lions Clubs
International President

## 100周年記念に向けて会員の増強を

当時は気付いていませんでしたが、私にとって人生最高の日の一つは、職場の同僚からライオンズの例会に誘われた日です。私に声を掛けてくれる勇気、信念、先見の明を持った人物がいたからこそ、私の人生は永遠に変わり、ライオンズ抜きでは考えられないほど有意義なものとなりました。10月と併せて会員増強月間となるこの4月、ライオンズクラブ創設100周年記念の一環として、周囲の人々に入会を呼び掛けましょう。

祝賀、記念、更なる奉仕への意欲など、100周年の持つ意味は人によってさまざまでしょう。しかしそれは同時に、会員増強によって私たちの活力と奉仕の力を確保するための巨大なてこにもなるのです。新会員を入会させることで、彼らが奉仕の充実感、そして人生における新たな喜びを見いだせるようにしてください。それは私たちの誇りを高めることにつながります。

100周年記念の一環として考え抜かれた会員増強アワード・プログラムが4月1日に始まり、2018年の6月30日まで続きます。ライオンとクラブが新会員、新クラブをスポンサーする意欲を後押しするために、私たちは一連のアワードを用意しています。新会員のスポンサーとなった、または新クラブの結成に尽力したライオンズ・メンバー、また新会員を迎え入れ、あるいは新クラブのスポンサーとなったクラブには、限定版

の美しいピン、賞状、バナーパッチが贈られます。ご存じのように、ライオンズの奉仕の使命を推進することで得られる真の報いは、自身の中に生まれる誇りと充実感です。とはいえ、私たちは会員増強に対するメンバー及びクラブの努力を、適切に表彰したいとも考えています。自分の奉仕にお礼を言われるとうれしいものです。これらのアワードはライオンズクラブ国際協会からの感謝の印、大きな「ありがとう」の言葉なのだと考えてください。

会員増強アワード・プログラムの詳細は31ページに掲載され、国際協会の公式ウェブサイト（lionsclubs.org）でも閲覧出来ます。常に呼び掛けに応えてくれるライオンズは、今回もきっと全力で会員増強に取り組んでくれることでしょう。私たちの奉仕の更なる拡大を目指し、皆さんのご健闘をお祈りしています！

Joe Preston

2014-15年度国際会長
ジョー・プレストン

※このメッセージの原文は国際協会公式ウェブサイトに掲載されています
http://www.lionsclubs.org/EN/who-we-are/our-leaders/presidents-message.php

# Headline

ライオンズクエスト・プログラムの説明員講習会が2月3日、東京・高輪のジュセイ品川貸会議室で開催され、北海道、福島、大阪、熊本から4人の会員が受講した。説明員制度は2007年に、LCIFから同プログラムの普及と版権管理を委託されている青少年育成支援フォーラム（JIYD）により設立された。セミナー（体験会）などでプログラムの概要を説明し、模擬授業を行う人材を養成するもので、これまでに全国で72人のライオンズ・メンバーが説明員の資格を得ている。活動のやり方は各説明員に任されており、他クラブの例会を訪問して理解促進を図ったり、薬物乱用防止教室と絡めたりと、各地の事情や説明員の持ち味を生かして活動している。

ライオンズクエスト・プログラムは現在、全国の30地区がLCIF四大交付金を活用して普及に取り組んでいる。7月の新年度からは更に1地区が加わる予定で、地区の資金でプログラムを推進している332-C地区と337-E地区を合わせると、35準地区中33の地区がライオンズクエストを導入していることになる。そんな中、昨年度は全国100カ所（公募型56、校内型44）で、LCIF認定講師によるワークショップ（教師用トレーニング）が開催された。また、既にプログラムを導入している学校等の教師を対象としたフォローアップ・ワークショップも26回を数えている。2000年に日本で初めて330複合地区におけるパイロット事業が始まって今年で15年。この間に開催されたワークショップは延べ791回、受講者は1万9814人に上る。全国でプログラムの普及活動が進む中、今後ますます説明員の需要が高まりそうだ。

SCENE

青森県・五所川原金木ライオンズクラブ

取材／井原一樹　撮影／関根則夫

# 青森五所川原から跳び立て、未来のオリンピック選手

青森県五所川原市金木町にある五所川原市嘉瀬スキー場。ここには2001年にK点20メートルのスモールヒルジャンプ台が作られた。このジャンプ台は1月初めから2月中旬まで毎週月水金曜日に開かれるスキー教室で、子どもたちに使われている。

五所川原金木ライオンズクラブ（白川仁会長／15人）はこのジャンプ台整備をスキー教室のOB・OG、保護者らと一緒に実施している。整備はスキー教室の当日に行われる。滑走するレーンを作り、ランディングバーンと呼ばれる着地点に降り積もった雪を取り除く。その後、上からアルペンスキーで踏み固めるのが主な作業だ。毎回2時間程度の作業を、参加者は休憩も取らずに行う。雪の積もり具合にもよるが、終わった時には汗びっしょりになることも多い。

クラブがこの事業を始めたのは昨年のこと。人口が少なくなってきたこともあり、スキー教室の参加者が減少。教室の関係者だけでは準備が大変になってきていた。クラブも子どもたちに対する支援をしたいと考えており、ジャンプ台整備に参加することにした。週3回実施しているので、来られるメンバーが来て作業する。メンバーの集まる機会にもなる上、定期的に身体を動かすことになるなど意外な効果もあった。

五所川原市嘉瀬スキー場は青森県で唯一クロスカントリー、アルペンスキー、ジャンプが出来るスキー場だ。クラブでは支援を続け、五所川原から世界に羽ばたく選手が出てくることを期待している。

# SCENE

大阪梅田中央ライオンズクラブ

取材／砂山幹博　写真／関根則夫

## 作る励みと、もらう喜びをつなぐフラワーアレンジメント教室

プリザーブドフラワーをご存じだろうか。花や草木に特殊な液体を吸わせ、みずみずしさと美しさを長く楽しめるように加工した花のことだ。水やりが不要で手間がかからないことから、生花の代わりに結婚祝いや誕生日、母の日などのギフトによく使われる。このプリザーブドフラワーを自分で自由にアレンジメントする趣味も人気があり、大阪梅田中央ライオンズクラブ（牧和男会長／28人）でも7年前から年に一度、講習会を開催している。一般の講習会と違うのは、対象が聴覚障害者であること。もともとはフラワーアレンジメントの技術を身に付け、それぞれの地域で講師役を務めるなどその腕を生かしてもらおうと始めたアクティビティだ。ところが東日本大震災をきっかけに、作る楽しみを享受するだけではなく、作ったプリザーブドフラワーを被災地へ贈り届け、少しでも元気になってもらおうという活動へと進化した。

2月7日に行われた教室は、クラブ結成35周年ということもあって例年に比べ規模が拡大。前回は被災地へ届ける分として約100個作ったが、今回は地元の女性会にも参加してもらい340個を仕上げた。花器にアレンジメントされたプリザーブドフラワーに、クラブのメンバー総出でラッピングを施せば完成だ。気仙沼復興協会の協力の下、3月14日にメンバー5人が被災地に入り、3日間で仮設住宅や幼稚園など12カ所を訪問。聴覚障害者らと一緒に作ったプリザーブドフラワーだと説明し、直接手渡す予定だ。

CLUB REPORT クラブ・リポート

334-C地区

静岡県・浜松葵ライオンズクラブ

# 雪を楽しもう 児童福祉施設スキー教室開催

静岡県浜松市に静岡県立三方原学園がある。ここは静岡県が設置した児童福祉施設（児童自立支援施設）だ。三方原学園は全寮制で、職員はローテーションで18歳未満の子どもたちと起居を共にしている。そんな子どもたちが楽しみにしているのが中学2年生の2月に行われるスキー教室だ。これは浜松葵ライオンズクラブ（後藤康之会長／46人）が支援するもので、今年は2月19日から20日にかけて岐阜県・ひるがの高原スキー場で行われた。

浜松は雪があまり降らない地域。ほとんどの子どもたちは、浜松葵ライオンズクラブのスキー教室がスキー初体験となる。指導をするのは普段から寝食を共にする職員たち。子どもたちの性格や運動神経などを把握しているため、臨機応変に指導をしていた。スキー経験がなく、生徒に混じって一から習う職員もおり、皆楽しそうだった。

初日の19日は学園から車で3時間ほどかけてひるがの高原スキー場へ到着。晴れ渡る空の下、スキー場に飛び出した子どもたちは、朝からの移動の疲れをみじんも感じさせない元気な姿。開校式の後、男女に分かれてスキー技術を教わるが、わずか1時間強でもうリフトに乗って上から滑り始める。子どもたちの上達の早さにライオンズのメンバーも目を見張るばかりだ。子どもたちはその日の夕方には頂上からの滑走に挑戦していた。わずか2日間のスキー教室だが、その限られた時間を惜しむように、子どもたちは懸命に努力を重ね、同時に楽しんでいた。

クラブではこの事業を19年続けている。それ以前も他の学校を対象とした同じようなスキー教室の開催や、三方原学園との交流はあったが、毎年恒例の継続事業となったのは18年前からだ。今では学園行事の一環として三方原学園の年間スケジュールに組み込まれるなどすっかり定着した。当初は苦労もあったと言うが、回を重ねたうち、学園との打ち合わせもスムーズに進むようになった。子どもたちから届く感謝状は子ども相手の事業の大切さと影響の大きさを改めて実感させられるもので、メンバーにとっての宝物だ。

●投稿要領：
アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に。700字程度。写真を添付。ライオン誌ウェブマガジンのオンライン投稿か、Eメールまたは郵送で。送付先は57ページ下。

クラブでは今後もこの事業を継続していく予定だ。が、実はライオンズのメンバーも浜松付近の出身者が多く、スキーが得意なメンバーは少ない。そこで、ライオンズ向けのスキー教室をやってはどうか、という案が出た。自分たちの親睦を深める理由もあるが、何年か続けることで今後、三方原学園の職員たちと一緒にスキー指導をする側に回りたいという意見だ。実現までは長い道のりになるかもしれないが、クラブでは有意義な事業であるスキー教室を更に良いものにしたいと考えている。

（取材／井原一樹　撮影／内田明人）

336-C地区

広島県・福山北ライオンズクラブ

# 未来の自分へのメッセージを、故郷の木「アンズ」に込めて

1月27日、穏やかな備後灘を望む福山市田尻町の傾斜地で、アンズと桜の植樹が行われた。斜面にあらかじめ掘っておいた穴へ肥料を入れ、高さ1メートルほどの苗木を差し込み、スコップで土をかぶせ、苗木に添え木をし、水をまく。

作業を行ったのは近くにある市立高島小学校の6年生22人と教員ら。毎年恒例となっている同校の卒業記念植樹の風景だ。

田尻にアンズがやってきたのは今から300年ほど前のこと。豊後の国（大分県）から一人の僧侶が入植し、土産に持ち込んだアンズの種を、寺の空き地に植えたのが始まり。

アンズは冷え性や疲労回復に効く他、種にはせき止めや風邪の予防などの薬効があり、生薬としても珍重されて、次第に植える人が増えた。こうして田尻の特産となったが、戦後には様子が一変。大部分の木は切られ、「アンズの里」は姿を消した。

小学生らが植樹した傾斜地一帯も、かつてはミカンや野菜が栽培される畑だったが、高齢化などを理由に耕作放棄地が増え、広い範囲が荒れ地となった。ただ、斜面のどこからでも見下ろせる瀬戸内の景観は、昔と変わらずすばらしい。これを生かす手はないかと、2008年に住民らが田尻スクスク育て会を結成。山の雑木を切り開き、農道を整えて、約350平方メートルに渡ってアンズと桜を植樹して並木道として整備し始めた。

福山北ライオンズクラブ（古本秀人会長／31人）もこの趣旨に賛同し、翌年から活動に参加。同会のメンバーらと共に小学生の植樹作業全般をサポートする他、毎年苗木に取り付ける記念プレートを用意している。子どもたち一人ひとりに木製のプレートを渡し「未来の自分へのメッセージ」を書いてもらい、一度クラブで回収。風雨でも文字が消えないよう表面に保護加工を行った後、植樹の際に本人に戻し、自分の手で苗木に取り付けてもらう。プレートには、こんなことが書かれていた。

「今、どんな仕事に就いているのかな」「毎日を楽しく過ごせている?」「苦しいこともあるかもしれないけど、どんな時で

も笑顔を忘れないで」

将来、地元を離れたとしても故郷を思い出し、時々自分の植えたアンズを見に来てほしい。卒業記念植樹には、そんな願いが込められている。そして、自分の植えた木には、あの頃の自分からのメッセージが添えられている。きっとすてきな体験になるはずだ。

地元住民たちの努力もあって、現在、田尻全体でアンズの木は3500本を数えるまでに回復した。3月には、アンズの花が一斉に開花し、斜面を桜と桃のちょうど中間ほどの薄ピンク色に染め上げる。

（取材／砂山幹博　撮影／関根則夫）

333-A地区

新潟県・栄ライオンズクラブ

## しかけ絵本日本一プロジェクトに金銭支援

1月20日、栄ライオンズクラブ（34人）は、「めざせ！しかけ絵本日本一プロジェクト」に金銭支援を行った。このプロジェクトは三条市が栄地区にある子育て支援施設スマイルランドに併設する図書館栄分館の一画を子ども・子育てに特化した図書館へリニューアルし、しかけ絵本の蔵書日本一を目指すもの。個人や団体の寄付を募っており、千冊購入を目標に資金を集めていた。結果、目標を達成し、2月1日に、寄付者を集めてセレモニーが行われ、当クラブも感謝状の授与を受けた。

この事業のきっかけは、私が今年度会長就任時に、地元密着型の事業をやりたいと思い、会員からアイデアを募ったこと。提案として出てきた五つの中に、このしかけ絵本プロジェクトへの寄付があった。役員で5案それぞれ検討した結果、タイミングが良いこと、マスコミへの露出が高いことなどを鑑みて今回のしかけ絵本プロジェクトへの寄付を行うことを決めた。目標額達成を聞いた時は、手伝いが出来たことをうれしく思うと同時に、達成感を分けてもらった感じを受けた。今回の寄付は会員の思いが一つになったもので、そこには会員の家族の寄付も入っている。

同時に公募されていた分館の愛称は「えほほん」に決定。既にしかけ絵本の蔵書は1036冊に達し、最終的には1500冊を見込んでいるという。「えほほん」が子どもたちにとって楽しい図書館となり、親御さんの子育てに役立つことを会員一同切に望んでいる。

（会長／小川敏郎）

335-C地区

京都むらさきライオンズクラブ

## YCE来日生にメンバーが日本文化を紹介

京都むらさきライオンズクラブ（田中千秋会長／59人）は、2014年12月20日に、冬期YCE来日生を対象とした、伝統文化体験1日ホスト・アクティビティを池坊短期大学で実施した。

これは12年以来2回目の事業。参加した16歳から18歳の男女5人は、生け花、茶道、邦楽、礼法を体験した。

生け花体験の華道講師（メンバー）は英語で生け花についての基礎的なことを説明。その後、クリスマス向けの作品を各自、自由に生けていった。初めは緊張していた来日生も、実際に花を手に取ると、笑顔になる。和やかな雰囲気の中、可愛らしい生け花が出来上がった。昼食はおいしい日本料理でメンバーとの交流を深め、次の茶道体験では、メンバーによる本格的な茶道のお点前に参加。正座には慣れていない来日生たちだったが、お菓子とお抹茶にほっこりし、お茶をたてることにも挑戦した。茶道の後は琴の演奏を鑑賞。日本の伝統的な曲の他、宮崎駿監督作品「天空の城ラピュタ」の音楽などが演奏されると、留学生たちはその美しい音色に感動していた。

最後は礼法講師（メンバー）の英語による礼法の講義。お箸の使い方から、汁物を頂く時のお椀の扱い方、風呂敷のいろいろな包み方などを体験。お箸で豆つかみ競争も盛り上がった。

当クラブには、日本伝統文化に携わっているメンバーが多数いる。これを生かして異国からの来日生に、日本文化をより理解してもらうために、今後もこの事業を続けていきたい。（青少年育成委員長／山田伸子）

332-F地区

秋田矢留ライオンズクラブ

## カンボジアの小学校に井戸を寄贈

2014年11月21日、カンボジアで秋田矢留ライオンズクラブ（32人）が寄贈した井戸の完成披露式が行われた。当クラブからは私と前田一美会計が参加し、カンボジア王国から贈られた感謝状を受け取った。

私は以前カンボジアでのボランティア活動に参加したことがある。その際、人口200万人を超える首都プノンペンを歩いていて、オートバイの多さに気付いた。だが、市の中心部から15キロほど離れると、もう電気、ガス、水道などの生活インフラが整備されていない所が多い。道路は舗装されていない赤土。学校も無い。義務教育は中学校からであるため、小学校は少ない。更にそこから10キロほど離れた所に掘っ立て小屋式の学校がようやく1校ある、といった有り様である。

カンボジアでは年間を通して最高気温が30度を超え、5月から10月頃までが雨期となる。この時期は雨ばかり。川はあふれ、大洪水が起こる。逆に11月から4月頃の乾期には、雨が降らない。こういった気候の中で、足りないのは飲み水だ。

こうした事情を踏まえ、当クラブでは45周年の記念事業としてカンボジアの小学校に井戸を築造することにした。井戸を掘ったのは220人の子どもたちが通うストゥアッチロミッ小学校と120人が通うヴィアルスボウ小学校の2校。それぞれの子どもたちは新しい井戸から出る冷たい水に大喜びだった。また、お土産として文房具を持参。子どもたち一人ひとりに配ったところ、大いに感謝された。

（会長／大木正一）

330-B地区

神奈川県・小田原白梅ライオンズクラブ

## 羽ばたけ！「未来の科学者」科学コンテスト2014

2014年12月20日、小田原白梅ライオンズクラブ（廣枝了三会長／59人）は早稲田大学と共に小田原白梅ライオンズクラブ・早稲田大学科学コンテスト2014を開催した。これは、青少年育成の一環として、科学の探究とプレゼンテーション力を高めることを目的に毎年1回実施している事業。今回で7回目だ。

対象は主に神奈川県西部の高校生及び小田原市内の中学生。科学研究の作品を夏休み前に呼び掛け、10月まで募集する。

5回目にご協力頂いた早稲田大学の大石進一教授が「この科学コンテストは我々教育者が行うべきことをライオンズが行っている」と共感して頂き、今は早稲田大学と共催している。

このコンテストでは最先端の研究をしている早稲田大学理工学術院の教員や、研究室の指導や助言を受けることが出来る。また、必要があれば早稲田大学にある高度な実験装置等を使わせてもらえるなど、科学に興味を持つ子どもたちにとってはうれしいコンテストだ。小田原市長もこの事業に関心を持たれ、今年から小田原市長賞が新設された。加えて市教育委員会から審査員も出して頂いた。

最終審査に選ばれた高校5作品、中学6作品は審査員から高評価を得た。最優秀賞の賞品は3月に1泊2日で予定されている科学教室合宿への招待だ。

当クラブではこのようなアクティビティを通じて地域の生徒と科学の専門家との「架け橋」となり、青少年の健全育成事業を大きく成熟させていきたいと考えている。

（幹事／秋山隆一郎）

335-A地区

**兵庫県・そのだライオンズクラブ**

## クラブのPRも兼ねた そのだふれあいコンサート

2014年12月21日、そのだライオンズクラブ（稲田勇次郎会長／55人）は、そのだふれあいコンサートを尼崎市立園田地区会館で開催した。当クラブは結成7年目とまだまだ歴史が浅い。そこでPRを兼ね、毎年地域密着型事業を企画、実施している。

今回は青少年健全育成の一環として、地域で青少年を中心に活動している七つの団体と個人に出演して頂き、普段練習している歌や演奏をステージで披露してもらう機会を提供した。また、参加者には音楽を身近に感じて頂き、そして自分たちの地域にもこんなに元気でパワフルなすばらしい学生や青少年がいることを知って頂けるようにとの思いで企画をした。

コンサートの最初を飾るのはさまざまな大会に出場し入賞されている市立尼崎双星高校吹奏学部。普段あまり生で聞くことの出来ないその軽快な音色に観客は満足げ。その後ゴスペル、ハンドベルなどが演奏された。

最後は若い男女による沖縄の伝統芸能のエイサー。三線や太鼓、そして歌を聴き、知らず知らずの内に、ご来場の方々が全員立ち上がり場内を踊り歩くなど、沖縄の会場と間違えるほどの熱気に。その迫力あるバチさばきに感動しながら、本場のエイサーのだいご味を思う存分味わうことが出来た。こうして、出演者、ご来場者、スタッフが一団となり、興奮さめやらないまま無事コンサートが閉会した。

今回も青少年の育成を通じて地域の方々との新たな出会い、絆が生まれたものと信じている。

（ライオン・テーマー／岡村泰玄）

333-C地区

**千葉県・佐倉ライオンズクラブ**

## 児童発達支援センターのクリスマス会で歌ったり踊ったり

2014年12月20日、佐倉ライオンズクラブ（宍倉秀文会長／31人）は佐倉市にある児童発達支援センターさくらんぼ園のクリスマス会に参加した。当クラブは毎年このクリスマス会に参加しており、メンバーがサンタクロースに扮して、子どもたちと楽しく踊ったり、歌ったりしている。

この事業は当クラブの主要アクティビティとして18年前から継続しているもの。10年前からはメンバーの発案でライオンズクラブの活動をアピールするために「ライオンさん」というライオンの着ぐるみを着用して子どもたちとの触れ合いを大切にしている。

今回のクリスマス会は土曜日に開催したこともあり、保護者、児童、メンバー含め150人以上の参加者となった。さくらんぼ園管理者の方々による演劇、キャンドルサービス、サンタクロースが登場し、「サンタさんはどこから来たの？」質問コーナーなど盛りだくさん。

クリスマス会の最後には当クラブやその他支援者・団体等からのクリスマスプレゼントが子どもたち一人ひとりにサンタクロースとライオンさんから手渡され、参加者全員で記念撮影をして終了。閉会後もライオンさんは大人気で、なかなか離れたがらない子どもたちに後ろ髪を引かれる思いでのお別れとなった。

子どもたちの笑顔に元気付けられ、より一層奉仕活動と仕事に励もうという活力を得る良い機会だったと思う。また来年もこのクリスマス会を楽しみに奉仕活動を続けていきたい。

（幹事／山下智一）

高知鷹城ライオンズクラブ

## 子どもたちの夢を叶える事業
## 移動遊園地を実現

2014年12月5日、高知鷹城ライオンズクラブ（佐々木敏雄会長／53人）は高知県立高知若草養護学校で移動遊園地を開催し、子どもたちに遊んでもらった。これは当クラブの結成55周年記念事業である「子どもの夢事業」の一つであり、小学生を対象に新聞紙上で夢を募集し、その中から選んだ六つの夢を叶える事業だ。

今回は若草養護学校小学部5年生の「移動遊園地のエアートランポリンやエアー滑り台等で思いっきり遊びたい！」という夢を実現した。

日頃、肢体不自由の子どもたちは遊具などでなかなか思いきり遊べない。そんな児童たちが安全に遊べるエアートランポリンやエアー滑り台等を学校の体育館に設置し、一日楽しんでもらった。

準備は前日の夕方から。エアー滑り台、ルーレット、だるま落とし、輪投げ、バンパーカーなど数多くの遊具を運び入れて設営。中でも総重量130キロのエアートランポリンを、2階にある体育館まで運ぶのは大変な作業だった。

当日は大道芸人のバルーンアートや、クラブ員による綿菓子作りなどを用意。最初、児童たちは初めて体験する遊具に戸惑っているようだったが、先生や保護者の方と遊んでいるうちにいつしか時の過ぎるのを忘れ、はじけるような笑顔で楽しんでくれた。

閉園時には、先生方や児童から心温まる感謝の言葉と、手作りの贈り物を頂き、この事業のすばらしさを実感した。

（会員理事／田中智洋）

337-C地区

長崎県・大村ライオンズクラブ

## 新たなパワースポットの誕生
## さざれ石の寄贈

2014年12月26日、大村ライオンズクラブ（酒井辰郎会長／62人）は、結成50周年記念事業として、日本さくら名所100選に選ばれている長崎県・大村公園内の大村神社にさざれ石を奉納した。これは、例会の時に必ず歌う国歌「君が代」の中で詠まれているもの。普段歌っている国歌の意味やそこに登場するさざれ石については、ほとんど知らなかったため、調べてみたところ、さざれ石は学名を石灰質角礫岩という。石灰石が長い年月の間に雨水で溶解され、その時生じた粘着力の強い乳状液（鍾乳石と同質）が地下にて小石を凝固して、だんだん巨石となり、河川の浸食作用により地表に露出したものだ。岐阜県の天然記念物に指定されている。

このように、さざれ石は、長い時間を象徴するだけでなく、さまざまな形、大きさ、色の小石が集まって岩になるという結合力を示している。それは、団結、協調、平和、繁栄、絆の象徴だと言えるだろう。家庭も地域も国家もみんなが心を合わせて進めば、千代に八千代に栄えゆく。

まさにライオンズクラブを体現するような石である。

初詣に間に合うようにと、事業決定から1カ月という短期間で寄贈。この石の意味を理解して、設置場所をご用意してくれた大村神社様、クラブ・メンバーの石の匠、造園の匠、看板の匠の協力のおかげだ。同じ場所の国指定天然記念物のオオムラザクラと共に、訪れる人々に親しまれることを願っている。大村にお越しの際は、この新たなパワースポットにぜひお立ち寄りください。（幹事／堀内敏也）

337-A地区

福岡県・つくし中央ライオンズクラブ

# 校区型ライオンズクエスト 公開授業

2月14日、福岡県春日市にある市立春日中学校と市立須玖小学校でライオンズクエスト（LQ）の公開授業が行われた。保護者を中心にライオンズ・メンバーや、他地区小中学校の関係者も多く訪れ、授業に見入っていた。

この春日中学校区には須玖小学校と市立春日小学校がある。実はこのどちらの学校もLQを採用しており、春日地区の子どもたちは義務教育の間LQにのっとった授業を受けることになるという全国でも珍しい校区なのだ。

この地区で最初にLQを採用したのは須玖小学校だった。2011年10月、教育委員会の研修会で紹介されたLQに興味を持った小宮都賀最校長が当時地区のクエスト推進委員だったつくし中央ライオンズクラブ（畑中孝之会長／70人）のライオン井手口敬介にプログラムを見せてもらったのがきっかけだった。学校運営協議会とPTAの承認を得た小宮校長は、12年1月につくし中央ライオンズクラブに依頼し、教職員向けミニ・フォーラムを開催してもらった。結果、教員全員が支持し、その年から導入された。その後、13年に春日中学校で、14年からは春日小学校でも導入され、LQが校区全体で実践されている。須玖小学校に導入された頃はまだ小学校向けのプログラムがなかったため、先生方で内容を研究し、独自にアレンジした小学校に合うプログラムを作成した。このプログラムは今でも使用されている。

この導入にはつくし中央ライオンズクラブの思いがあった。実は337複合地区内でA地区がいちばんLQの普及が遅れていた。年次大会などで他地区の報告を聞く度に忸怩たる思いがあったという。ライオン井手口が推進委員になり、LQへの関心が高まっていた時に須玖小学校の話が出たため、クラブでは支援を決め、推進してきた。

教育は短期間で効果が出るものではない。そのためクラブでは導入の際に打ち上げ花火のような単発ではなく、継続して支援することを約束した。それから3年。LQは地域に浸透しつつある。須玖小学校では児童の健康に対する意識が向上したという結果も出ている。また、あいさつをする児童も増えるなど、子どもたちに良い影響が出ていると小宮校長は語る。だが同時にこうした変化は数値化出来ない部分であり、どうやって評価を明確化していくかが今後LQを長く続けていく上での課題だという。　（取材／井原一樹）

**3分間 ライオンズ アクティビティ編**

視力保護・盲人福祉
眼鏡リサイクル

# 眼鏡で新たな人生を、眼鏡に新たな活躍の場を

皆さんの家の引き出しにも、使われないまま眠っている眼鏡がありませんか。そうした眼鏡を集めて発展途上国に送り、再び役立ててもらおうというのが眼鏡リサイクル・プログラムです。これはライオンズクラブ国際協会が設けている公認奉仕プログラムの一つで、世界各国のライオンズが取り組んでいます。

近視、遠視、乱視と言った屈折異常のほとんどは眼鏡を使用することで簡単に矯正出来るものですが、発展途上国では何百万人もの人々が眼鏡を購入することが出来ずにいます。子どもが学校で黒板や本が十分に見えないと、学習に支障をきたすことになります。更に子どもは成長途中であるため、視力障害が脳機能の発育にも影響を及ぼすと言われています。大人の場合はよく見えないがために、仕事に就けないこともあります。こうした問題の多くは、眼鏡さえあれば解決するのです。

日本でもいくつものクラブが眼鏡リサイクルに参加しています。クラブは地域の広報や新聞で市民に協力を呼び掛けたり、町の眼鏡店や公共施設に収集箱を置かせてもらうなどして眼鏡を集めます。一般の視力矯正用だけでなく、老眼鏡やサングラスも受け付けます。特に需要が高いのは子ども用眼鏡です。

東京三軒茶屋ライオンズクラブの眼鏡リサイクル活動

眼鏡を提供してくださる方の中には「母が生前愛用していたもので捨てるに捨てられずにいましたが、どこかの国のどなたかの役に立つならば母も喜ぶと思います」といった手紙を添えてくださる方もあるようです。ライオンズの取り組みを知った大手眼鏡チェーン店が、下取りキャンペーンなどで集まった眼鏡を提供してくれた例もあります。

2009年のアメリカ・ミネアポリス国際大会ではサービス・センター内に収集箱が設けられ、各国の大会参加者から6万を超える眼鏡が提供されました。国際本部の集計によると、2012年度は世界中で3500万個の眼鏡が収集されました。

こうして集められた眼鏡は、ライオンズ眼鏡リサイクル・センターへ送られます。現在、アメリカを始め世界7カ国に20のセンターがありますが、日本にはないので、日本からは箱に詰めて船便で送ることになります。

リサイクル・センターでは眼鏡を洗浄、検査、測定して種類や度数ごとに分類します。そしてライオンズまたはその他の人道奉仕団体の要請を受けて、発展途上国での眼鏡配布プロジェクトに提供されるのです。

眼鏡リサイクル事業は地域市民にも収集への協力を呼び掛けることで、発展途上国の現状と奉仕の必要性に目を向けさせる啓発になると同時に、ライオンズクラブの活動を広く紹介するＰＲにもなります。使われなくなっていた眼鏡が、誰かの人生を変える「視力の贈り物」になるかもしれません。皆さんのクラブでも参加してみませんか。

眼鏡リサイクル・センターの一覧を含め眼鏡リサイクルについての情報は、ライオンズクラブ国際協会公式サイト(www.lionsclubs.org)に掲載されています。ポスターや回収箱に貼るステッカー、感謝状などのデータをダウンロードしたり、各種資料を注文することも出来ます。

## 特集：薬物乱用防止

規制をかいくぐり蔓延する危険ドラッグ。麻薬や覚せい剤以上に有害なものもあると指摘される中、特に若年層の間で乱用が広がり、昨年は乱用者が引き起こす事件が相次いだ。その実態と脅威を、長年薬物問題を取材してきたNHK記者にリポートしてもらう。

写真：アフロ

# 日本を薬物汚染大国にさせないために

## ～危険ドラッグ蔓延の取材現場から～

NHK大阪放送局 報道部記者　野本勝

### 乱用者は推計40万人 危険ドラッグ汚染の衝撃

40万人!!

去年、厚生労働省の研究班が出した推計が、衝撃を持って受け止められた。アンケート調査を基に推計した、国内で危険ドラッグの乱用経験があると見られる人の数だ。推計によると、この40万人という数は、覚せい剤の乱用経験者に次ぐものだという。わずか数年前に知られるようになった危険ドラッグが、大麻やコカインなどの従来から蔓延していた違法薬物をはるかに上回る勢いで乱用を拡大させている実態が明らかになった。そして、その乱用の中心になっているのは若年層だ。危険ドラッグの経験者は平均年齢がおよそ34歳と覚せい剤など他の薬物よりも低いことが、この問題の重大さを物語っている。

深刻なのは、これまで薬物とは無縁だった人、とりわけ若者、青少年が、この危険ドラッグに手を出している実態があることだ。摘発された人の中に薬物事犯の初犯者が多く含まれており、これは覚せい剤などとは全く異なる。

「薬物と無縁なはずのごく普通の若者、青少年が次々と危険ドラッグ乱用に走っている。これまでの日本ではなかった深刻な事態で、近い将来日本が『薬物汚染大国』になってしまうのではないか」

麻薬捜査の専門機関、厚生労働省麻薬取締部の幹部は強い危機感を示す。

### 蔓延の背景にある「脱法」のわな

「危険ドラッグ」蔓延の原因を考える上で重要になってくるのが、その名称だ。

去年7月、警察庁などが名称の公募を行い新たに命名したのが、この「危険ドラッグ」という名称だ。危険性の認識を高めようという狙いで命名されたものだ。しかし、今も「脱法ハーブ」「脱法ドラッグ」という呼ばれ方をしているケースが多い。それほど、この「脱法」という

言葉は鮮烈な印象だったのだろうと思う。従来の「薬物＝違法」という当たり前の思考に揺さぶりをかけてきたところに、このドラッグの巧妙さがある。しかも、危険ドラッグを売る側、買う側は通常これらのドラッグを「脱法」と呼ばない。「合法」である。脱法どころか、「合法ハーブ」「合法ドラッグ」などと書かれて売られてきたからこそ、薬物への心理的な抵抗感が弱まり、ごく普通の若者たちが手を出していった面がある。

言うまでもなく危険ドラッグが合法であるはずがない。従来から規制対象となっていた薬物の成分の化学式の一部を巧妙に変え、規制をかいくぐろうとする手口は悪質、巧妙で、「脱法」を意図した行為であることは間違いない。ここ数年は、国が新たに規制対象とすると、また新たに化学式の一部を変えてくるといった、いわゆるいたちごっこの状態が続いてきた。

乱用者による深刻な健康被害、それにとどまらず乱用者による事件や事故が相次ぐ中、去年、国は取り締まりの強化はもちろん、成分の化学式への規制の在り方を化学式の骨組みが一致するかどうかといった包括的なものにして、規制逃れを難しくしようとするなど、次々と対策を講じてきた。しかし、今も化学式の骨組み自体を変化させるなど、手口が更に巧妙化している。また、店舗で堂々と売っていた危険ドラッグの販売店が、摘発の強化を受けて販売方法を変え、インターネットでの密売や、電話やメールなどで注文を受けて客が指定する場所に届ける、いわば「デリバリー型」の密売にシフトしつつあり、これが捜査を一層難しくさせている。

ただ、摘発の強化によって危険ドラッグを扱うグループ、具体的には販売店、卸や製造元などは、打撃を受けていると、密売事情に詳しい関係者は語る。例えば、販売店からデリバリーに移行したとしても、店舗での販売のように、新規の顧客を得たり大量に売りさばけたりはしないだろう。

**危険ドラッグ事犯の検挙状況（平成26年）**

■危険ドラッグ事犯検挙人員（平成21～26年）

| 年 | 検挙人員（人） |
|---|---|
| 平成21年 | 11人 |
| 22年 | 10人 |
| 23年 | 6人 |
| 24年 | 112人 |
| 25年 | 176人 |
| 26年 | 840人 |

■危険ドラッグ乱用者*の検挙状況

【乱用者の検挙人員】631人

【平均年齢】33.4歳

・20歳代：236人（37.4%）

・30歳代：204人（32.3%）

・40歳代：121人（19.2%）

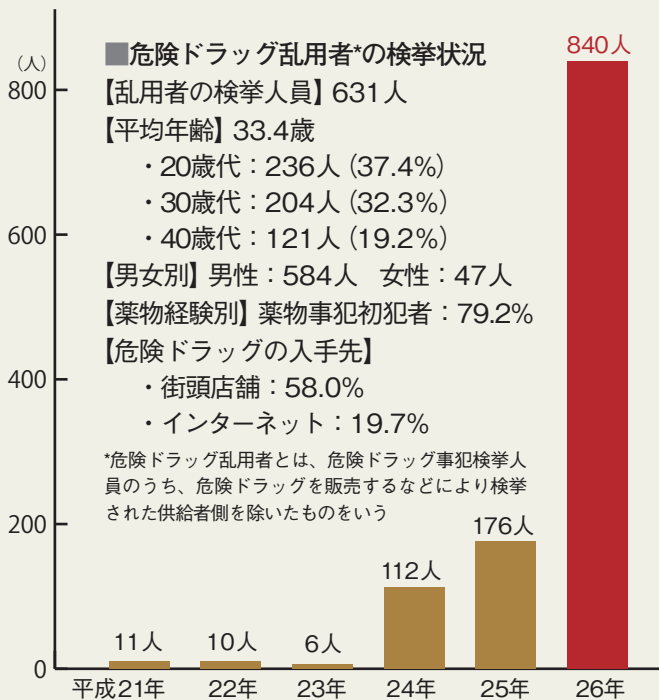
【男女別】男性：584人　女性：47人

【薬物経験別】薬物事犯初犯者：79.2%

【危険ドラッグの入手先】

・街頭店舗：58.0%

・インターネット：19.7%

*危険ドラッグ乱用者とは、危険ドラッグ事犯検挙人員のうち、危険ドラッグを販売するなどにより検挙された供給者側を除いたものをいう

●資料：警察庁刑事局組織犯罪対策部薬物銃器対策課「平成26年の薬物・銃器情勢」

## なぜ蔓延が続くのか～依存が生む闇市場～

摘発や規制の強化によって、かつてのように、脱法的な手段によって暴利をむさぼることが難しくなりつつある危険ドラッグ密売だが、ここである疑問が生じてくる。ではなぜ、今も乱用が収まらないのか、乱用者による事件や事故が相次いでいるのか。その原因は、この密売を「今も儲かる」と売る側が感じていることにあると見られている。そこには、薬物の持つ「依存」という恐ろしい特質がある。

危険ドラッグが急速に蔓延し始めた3年前の春、危険ドラッグの番組取材で密売事情に詳しい人物から聞かされた不吉な予言を思い出す。当時は、脱法ドラッグという名称で、乱用者や売る側からは「合法ハーブ」という言葉で、興味本位で手を出した人たちに乱用が拡大していった時期だ。

その人物は語った。

「あと数年もすれば、今は興味本位で手を出しているごく普通の人が重度の依存者になっている。彼らは、合法だろうが違法だろうが、なんとしてでもドラッグを手に入れようとするだろう。言い換えれば、覚せい剤のような闇の市場が出来上がっているはずだ」

危険ドラッグに限らず、薬物には「依存性」がある。初めて手を出した当時は「捕まらないなら一度だけ」という軽い気持ちだった普通の人たちが、依存を深め、やがて手放

せなくなる。「捕まらないなら」という安易な気持ちから、乱用を前提に「どうしたら捕まらずに手に入れられるか」という思考回路になっていく。ドラッグの快楽が頭を離れず、仕事や生活（貯蓄など）、交友関係を犠牲にしてでもドラッグに手を出してしまう姿は、従来から覚せい剤などの依存者の行動としては知られているが、危険ドラッグが薬物である以上、同様のことが起こりうるのは当然のことである。

そして、今、薬物依存者の治療を重点的に行う医療機関には、こうした危険ドラッグによる依存者たちが次々と運び込まれているのだ。逆に言えば、それだけ「儲かる市場」が出来上がっている以上、密売を続けようという動きが止まらないのもうなずける。

## 強力化する危険ドラッグの脅威

そもそも依存を生む危険ドラックの正体は何なのだろうか。規制をかいくぐるために化学式を巧妙に変えているというが、そもそもの成分はいったい何かを知っている人は、意外に少ないのではないか。「脱法ハーブ」などと呼ばれていたことから、ハーブそのものの中に幻覚などを引き起こす成分が含まれる、と思っている人も多いのではないだろうか。

実は、危険ドラッグが脳に作用を及ぼす有害成分は、人工的に作り出された化学物質で、それをハーブに混ぜている。ハーブはいわば目くらましのようなもので、おしゃれな感覚を演出するためのものと見られている。

実は、ハーブに混ぜて出回る前から、こうしたドラッグは液体や粉末などの形状で出回っていて、捜査機関などは当時、覚せい剤などの物質と区別して「違ドラ（違法ドラッグの略称）」などと呼んで監視していた。それがこの「ハーブと混ぜる」という巧妙な手法が出てきて以降、若者たちの感覚につけ込む形で急速に広まったと捜査機関は見ている。

そして、ハーブに混ぜられた化学物質の有害性は、ますます強力になっているのが実態だ。「危険ドラッグって何?」と少し知識のある若者に聞くと、「大麻に似たもの」という答えが返ってくることがある。確かに数年前、脱法ハーブとして出始めた頃は、大麻の成分であるカンナビノイドの成分に似たものを人工的に作った「合成カンナビノイド」と

2014年５月に警視庁が都内のハーブ店から押収した危険ドラッグ等。警視庁で（写真：読売新聞/アフロ）

呼ばれるものが含まれていることがほとんどだった。その後、乱用が加速する中で、闇の市場は広がり、さまざまな薬物の疑似ドラッグが出現した。覚せい剤やコカイン、ヘロインに似た成分が出回り、最近ではこれらを複数混ぜたものも出てきている。

覚せい剤は強い依存性が知られており、今も国内の薬物事犯の検挙者で最も多いのが覚せい剤関連だ。これに更に別の薬物の疑似成分まで混ぜられれば、有害性、依存性は計り知れない。こうした未知の「超危険ドラッグ」とも言えるドラッグの依存者があふれ、手をこまねいていれば更に深刻化していくだろう。ごく普通の人が、とりわけ未来の社会を担うはずの青少年や若者が軽い気持ちから危険ドラッグに手を出し、深刻な薬物依存者になってしまう事態が今、日本社会で進行しているのだ。

「日本が『薬物依存大国』になってしまうのではないか」

そう語った麻薬取締部幹部の強い懸念は、こうした状況認識からきているものだろう。

## 若者を、日本の未来を、どう守るのか

重大な局面に来ている危険ドラッグ乱用との戦い。国は、店舗への摘発強化に加えて、ドラッグの原料となる化学物質の密輸を食い止めるための水際対策にも力を入れつつある。また、国だけでなく、地方自治体が独自に危険ドラッグを規制する条例を制定するなど、踏み込んだ対策に乗り出す動きも広がっている。

しかし先述のように、既に危険ドラッグが蔓延しつつある中で、国や行政だけでこの問題を解決すること

### 過去10年の危険ドラッグ関連の主な事象

- 2004年7月：20代男性が脱法ドラッグを使用し幻覚を起こして同居女性を刺殺。全裸で近くの交番に出頭する途中、路上で女性に噛みついた
- 2005年7月：これ以前は個々の薬品を麻薬として指定する必要があったが、薬事法上の無承認・無許可医薬品として取り締まりが可能に
- 2005年9月：ドラッグの違法性を認識させるため、厚生労働省が「脱法ドラッグ」を「違法ドラッグ」と名称変更
- 2007年4月：薬事法を改正し、新たに「指定薬物」の区分を設けた。行政による指定薬物の回収、廃棄、立入検査が可能に。製造・輸入・販売・授与の目的での貯蔵・陳列は罰則の対象に
- 2012年1月：東京都渋谷区の路上で、違法ドラッグを吸引した10代少年3人が救急搬送。近くの店でもらった紙巻状のハーブ1本を回し飲みした
- 2012年6月：京都市伏見区の国道で、30代男性が違法ドラッグを吸った直後に車を運転し、軽乗用車に繰り返し追突。親子３人を頸椎捻挫など負傷させた
- 2012年6月：大阪府心斎橋筋で20代男性が違法ドラッグを吸い乗用車を暴走させ女性2人にけが。歩道に乗り上げてからも2分間アクセルを踏み続けた
- 2012年10月：愛知県春日井市で30代会社役員が違法ドラッグを吸って車を運転し、横断歩道を渡っていた女子高生をはね脳挫傷で死亡させた
- 2013年3月：東京吉祥寺の路上で女性が刺殺された事件で、逮捕された少年の所持品から違法ドラッグ発見
- 2013年3月：化学構造が類似している多くの薬物を指定薬物として「包括指定」し、取締りの対象に。指定薬物は92種から851種へ拡大。その後も随時追加
- 2013年12月：静岡県沼津市内のホテルで、30代男性が交際中の18歳少女と違法ドラッグを使用。少女が重篤な症状に陥ったにもかかわらず放置し死亡させた
- 2014年1月：香川県善通寺市で30代男性が違法ドラッグを吸って車を運転し、下校途中の小学５年の女児をはね死亡させた
- 2014年2月：福岡市天神で30代男性が乗用車を暴走させ、12人に重軽傷を負わせた。同乗者と共に過去数十回にわたり違法ドラッグを使用して運転を繰り返していた
- 2014年4月：従来の流通だけでなく、指定薬物の所持、使用なども罰則の対象に
- 2014年6月：東京・池袋駅前で30代男性が乗用車を暴走させ、１人が死亡、6人がけが。事故直前に違法ドラッグを購入し運転しながら使用。少なくとも4年前から脱法ドラッグを使用
- 2014年7月：警察庁と厚生労働省が「違法ドラッグ」を「危険ドラッグ」と名称変更
- 2014年8月：東京都荒川区と墨田区に住む少年ら3人が、危険ドラッグを吸ってひったくりをしたとして逮捕。奪った金で再度ドラッグを購入していた
- 2014年11月：北海道札幌市で20代男性が危険ドラッグ吸引後に車を暴走させて歩道の女子高生をはね、骨盤が折れる重傷を負わせる。ストレス解消や高揚感を得る目的で約2年前から使用
- 2014年12月：東京都世田谷区のマンションで、30代男性が隣人の女性の部屋に侵入し、ナイフで切りつけ顔にケガを負わせた。男性の部屋からは危険ドラッグの袋が見つかった

「脱法」と称して販売するドラッグ店を一斉調査する東京都などの職員（写真：読売新聞／アフロ）

は難しいだろう。そこで重要になってくるのが、民間も含めた取り組みだ。例えば、地元の不動産業界団体と警察が協定を結び、危険ドラッグ店の入居を認めず、仮に入居後に判明した場合には入居契約を解除出来る条項を賃貸契約条項に加える取り組みなどは、街から危険ドラッグを排除する有効な取り組みだと言えるだろう。

また、啓発面でも民間の取り組みに期待したい。薬物の専門知識を持った厚生労働省麻薬取締部ＯＢが、各地の学校を訪問して危険ドラッグなどの恐ろしさを知ってもらう啓発を行っているが、その人数は限られている。こうした中、民間の人たちが正しい知識を学んで、青少年に伝える動きも出てきており、危険ドラッグ蔓延への危機感から活発化しているように感じる。

更に、こうした予防啓発に加えて、今後ますます大切になってくるのが、依存者（乱用者）へのケアだと感じている。40万人が乱用の経験有りという推計や危険ドラッグの持つ依存性の強さを踏まえ、依存者が乱用を断ち、社会復帰するための取り組みは欠かせないだろう。

国や自治体、医療機関、更には社会復帰のための支援の窓口などが連携を強め、総合的な危険ドラッグへの対策を進めていくことが必要だ。そこに、民間の取り組みが力強く加わっていけば、近い将来「薬物汚染大国」への懸念は払拭されているだろう。

危険ドラッグから若者を、日本の未来を守るため、社会が真剣に向き合う時期に来ている。

**野本 勝・のもと まさる**
平成12年、NHK入局。平成16年から薬物問題の取材を本格的に始め、薬物捜査の専門機関、厚生労働省麻薬取締部の捜査への密着取材を中心に10年にわたって継続取材してきた。危険ドラッグ関連では、平成22年「危険性増す脱法ドラッグ」（クローズアップ現代）で、国内の製造工場にテレビメディアとして初めて潜入取材した。また、去年11月のNHKスペシャル「攻防 危険ドラッグ～闇のチャイナルートを追う～」の取材班として捜査当局の捜査と密売側の激しい攻防を伝えた。この他、覚せい剤や大麻汚染、医療用の向精神薬の不正流通などをテーマに薬物問題の番組を多数取材、制作。現在、NHK大阪放送局の記者として薬物事件などを担当。

# 変化する情報に対応した薬物乱用防止教室を

寺田義和（東京鶯谷ライオンズクラブ）

1997・98年度330・A地区青少年指導委員長として薬物乱用防止教育認定講師制度創設に関わり、各地区への制度普及に伴い、全国で認定講師育成に尽力している。今年度330複合地区ガバナー協議会薬物乱用防止委員会副委員長。

## 「危険ドラッグ」は文字通り危険な薬

私たちライオンズクラブは厚生労働省、文部科学省、警察庁、内閣府の後援を受けて、薬物乱用防止教育認定講座を行い、子どもたちに薬物乱用防止教室を実施、青少年の健全育成に努めています。今では全国で教室が開かれ、多くの認定講師が熱弁を振るっています。

ライオンズクラブの薬物乱用防止教室は1994年、東京鶯谷ライオンズクラブが台東区立下谷中学校で実施したのが始まりでした。この時の講師は下谷保健所の衛生課長佐野ウララさん。薬物の恐ろしさについて説明して頂きました。この教室が、その後の薬物乱用防止教育認定講師制度創設の礎となったのです。

この頃から、青少年の薬物問題はライオンズだけでなく、政府、警察にとっても大きな課題の一つで、全国で専門家による教室が開かれるようになりました。しかし、薬物の危険性や、いかに身近にあるかを伝えようとするあまり、その内容が時に過激になり過ぎ、逆に青少年に薬物への興味を喚起してしまうようなものも出てきてしまいました。また、講師も不足し、曖昧な知識で行われる教室もありました。講師不足に、講義内容の問題。一気に盛り上がりを見せた薬物乱用防止教室は大きな課題に直面します。そんな折、ライオンズのメンバーを講師にするアイデアが出てきました。そこで、財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターの阿部俊三企画部長に相談。大きなサポートを頂き、97年10月、ライオンズクラブとセンターの共同認定による薬物乱用防止教育認定講師制度がスタートしました。

あれから18年。認定講師制度によって教室の質は上がっていますし、多くの子どもたちに薬物の危険性を伝えることが出来たと思います。しかし、残念ながら薬物を撲滅することは出来ていません。

昨年の流行語に「危険ドラッグ」という言葉が入りました。この危険ドラッグは製作者が規制を逃れるために成分をどんどん変えて作成しており、1カ月前のものとは同じ名前、パッケージのものでも全く別物になっているようなこともあるくらい、いい加減に作られているものです。これは非常に危険です。変な言い方ですが、大麻や覚せい剤など以前からある薬物に対してはある程度の対処法が確立されています。症状なども過去の例から推測することが出来ます。ですが、危険ドラッグはこれらと全く違います。どんな成分が使われているのか分からないから対処、治療のしようがないのです。また、規制逃れのために成分を変えていくため、人体に及ぼす影響もよく分かっていません。

薬物乱用と言うと、依存症になってしまうケースをイメージする方が多いと思います。実際、薬物を乱用すると、脳細胞に変化が起き、依存症になり、慢性中毒になってしまい

秋田県・大曲ライオンズクラブでは毎年、大仙市内の小、中、高校生を対象に薬物乱用防止セミナーを実施している。認定講師のメンバーが講義を行い、終了後は子どもたちにアンケートを取っている

ます。その一方、実は薬物には急性中毒もあります。これは薬物と体質が合わないことで起きるもの。臓器に著しいダメージを与え、最悪の場合は死に至ります。危険ドラッグはこの急性中毒を起こして急逝する危険性が他の薬物より高いと言われており、文字通り危険なのです。

## 薬物問題は多様化し身近になっている

　最近危険ドラッグと並んで問題になっているのが精神安定剤などの処方薬です。こちらは医師の診断の下、処方されるものですから、当然その薬品そのものが危険なわけではありません。ですが、その用量用法を誤ると、依存症を引き起こし、危険な副作用が出る場合があります。

　また、近年は海上警備が厳しくなったため、麻薬の密輸方法も変わってきました。少量ずつ複数人が分けて国内へ持ち込むやり方です。例えば海外で知らない人から荷物を預かってはいけない、というのは常識だと思いますが、知らない人には一緒のツアーに参加した人も含まれます。「お土産を買い過ぎちゃったから手荷物持ってもらえないかしら?」と言われて預かったら中身が違法薬物で逮捕され、量が多い場合には死刑の厳罰が課せられる国もあります。

　薬物問題は違法薬物や危険ドラッグの使用に限らず、身近なところにも存在している問題なのです。

　薬物乱用防止教育講師認定講座に更新が必要なのは、こういった新しい情報をどんどん取り入れていかなければいけないからです。危険ドラッグ規制のいたちごっこもそうですが、薬物を巡る情勢は日々変化しています。講師の方々には更新時の他、普段から新聞、テレビから得られる情報も教室の時に役立てて頂きたいものです。私は他にUNODC（国連薬物・犯罪事務所）のリポートを読んだり、薬物に関する講座を受けたりして情報を集めています。

　ただ薬物乱用防止教室を開けばいいというわけではありません。子どもたちに薬物の危険性を伝えることが目的ですから、伝え方にも工夫が必要です。普通の社会人であり、人生の専門家である我々ライオンズクラブのメンバーが子どもたちのために時間を作り、教室を開いている。それだけ重要なことなんだと思ってもらうと、説得力も増しますし、それこそがライオンズの持つ強みではないかと思っています。（談）

茨城県・鹿島ライオンズクラブには認定講師が多数在籍。ロールプレーイングの手法を取り入れるなど講義の方法を工夫しながら、鹿島市内の小中学校の子どもたちに薬物の危険性を訴え続けている

国際理事だより

■国際理事
西川義規
（兵庫県・姫路白鷺）

# バンコク・フォーラム 第1回ステアリング委員会の報告

第54回東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムは2015年12月3～6日、タイ・バンコクで開催されます。フォーラム・テーマは「Excellence Through Service」。その第1回ステアリング委員会が、2月13～15日に行われました。

タイにおけるOSEALフォーラムの開催は今回8度目で、第48回のパタヤ以外は全てバンコクでの開催です。バンコクには東南アジアのハブ空港、スワンナプーム空港があり、アメリカの旅行雑誌『トラベル＋レジャー』によって、3年連続で世界最高の観光都市と評価されたほどすばらしい都市です。

ステアリング委員会は、13日にカクテルパーティー及び歓迎夕食会が催され、14日に開会式、プロモーションビデオ上映、本部ホテルとなるセンタラ・グランド・アット・セントラル・ワールド・ホテルの視察を行いました。

会議では次の内容について協議し採択されました。フォーラム・テーマ及びロゴ、日程、登録方法、登録料（110ドル）、登録キット、プログラム、宿泊施設と交通手段、国際会長歓迎晩餐会。各種セミナーは、ライオンズクラブ100周年、国際会長テーマ、LCIF、レオ、ライオンズクエスト、青少年キャンプ及び交換、そして日本語、英語、中国語、韓国語、タイ語の各国語セミナーがあります。予定登録者数は1万人、そのうち日本は2500人が見積もられています。予算、国際理事候補、第55回OSEALフォーラム（中国・香港）のレセプション等々についても協議がなされました。

その後、開会式場となるバンコク国際貿易展示センター（BITEC）を視察。夕刻にはザ・ロイヤル・タイ・ネイビー・ホールにて、ミス・ユニバース・タイ代表及びミス・タイランド・ワールドとの写真撮影。また、特別な祝賀行事がある際にしばしばタイ国王陛下がご利用になるというアンサナ船上でのバレンタイン歓迎夕食会が催されました。

さて、日本とタイは1887年9月26日に「日暹修好通商に関する宣言」により、正式に国交が開かれました。一人でも多くの方々がこのフォーラムに参加され、タイはもとより東洋・東南アジア地域のメンバーと友好の輪を広げて頂きたいと思います。

ライオンズ・ニュース・カセット

# LIONS NEWS CASSETTE

## 第54回OSEALフォーラム（タイ・バンコク）情報

2月13～15日、タイ・バンコクで第54回東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムの第1回ステアリング委員会が開催された。委員会会議の主な協議結果は次の通り。

■会期：2015年12月3日（木）～6日（日）

■テーマ：Excellence Through Service

■開会式：4日（金）13時半～16時

■開会式会場：バンコク国際貿易展示センター（BITEC）

■本部ホテル：センタラ・グランド・アット・セントラル・ワールド・ホテル

■登録料：110ドル

■公式ウェブサイト：www.oseal2015.org

## LCIFエボラ出血熱指定献金に日本から1千万円余りを献金

1月27日の第7回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議において、LCIFエボラ出血熱指定献金口座に330～337複合地区から総額1108万7443円の献金が送金されたことが報告された。4千人以上と推計されている孤児を支援しようというバリー・パーマーLCIF理事長の呼び掛けに応え、同連絡会議は各複合地区100万円を最低目標として今年1月末までに送金することを申し合わせていた。複合地区別の献金額は次の通り。▼330複合地区＝100万円▼331複合地区＝100万円▼332複合地区＝100万円▼333複合地区＝100万円▼334複合地区＝251万8950円▼335複合地区＝256万8493円▼336複合地区＝100万円▼337複合地区＝100万円

## 日本の家族及び女性チームのリーダーが内定

昨年10月のスコッツデール国際理事会において、会則地域Ⅴ（東洋・東南アジア）及びⅥ（インド・南アジア・アフリカ・中東）にGMT・GLTと同じ構造の家族及び女性の会員増強組織を設けるパイロット・プログラムが承認されたことを受けて、日本の「家族及び女性チーム（FWT／Family and Women Team）」の各リーダーが内定した。

■家族及び女性会則地域副リーダー（日本担当）：鈴木誓男元地区ガバナー

■家族及び女性エリア・リーダー（東日本担当）：大石誠元地区ガバナー

■家族及び女性エリア・リーダー（西日本担当）：松前龍宗協議会議長

4月にチェコ・プラハで開催される国際理事会で正式に任命される。

## フェイスブック活用でクラブと地区の活性化を図る335・B地区

【鷺岡和徳335・B地区PR・IT委員長／ライオン誌サポーター】335・B地区（北畑英樹地区ガバナー／大阪府・和歌山県）はフェイスブックのグループ機能を利用した「335B_Facebook club（非公開）」で、地区内クラブのアクティビティや例会風景をリアルタイムに発信する活動を推進している。本年度は「ソーシャルネットワーク委員会」（久米功一委員長）が設置され、7月からリジョンごとに「Facebook勉強会」を実施してきた。勉強会ではフェイスブックとは何か、フェイスブックを使用する目的の説明に始まり、登録方法、使い方、ページ作成の方法までをマンツーマンで教えている。スマートフォンを使い慣れていない高齢のメンバーにも理解して頂

きやすいように、登録から活用まで丁寧な指導を心掛けている。「335B_Facebook club」への登録人数は818人となり（3月1日現在）、地区ガバナー運営方針の「ライオンよ、街へ出よう！」に基づく各クラブの労力アクティビティや楽しい例会風景などが写真のみならず動画でも紹介されることで、地区内クラブ並びにメンバーの活性化に大きく役立っている。登録メンバーからは「年配のメンバーからも好評で、クラブのメンバー全員がアクティビティを投稿出来るようになった」「見ているだけでも自分のクラブの運営にとても役立つ」という声が多数寄せられている。勉強会をスタートした頃は、フェイスブックを知らないメンバーも多かったが、最近ではホームページよりも利便性の高い広報ツールとして、公開型「クラブFacebookページ」を作成するクラブも増えてきた（335-B地区内で55クラブが公開）。今後も地区活性化のツールとして積極的にフェイスブックを活用していく予定だ。

## 1月承認の視力ファースト、ライオンズクエストの交付金

1月7日に開催されたライオンズクラブ国際財団（LCIF）のライオンズクエスト諮問委員会で交付金申請事業の審査が行われ、11カ国に対する12件総額71万2108ドルの四大交付金交付が承認された。日本の地区には、▼332-D地区＝2万ドル▼332-F地区＝1万ドルの2件3万ドルが交付された。

また、1月8日開催の視力ファースト諮問委員会は、12カ国に20件444万8744ドルの視力ファースト交付金を承認。今回の承認事業には、403-B1地区（カメルーン）でのオンコセルカ症予防（38万4298ドル）。201-Q2地区（パプアニューギニア）での眼科ケアシステム開発（28万9800ドル）、更にキューバにおける失明予防事業（12万5千ドル）などが含まれる。

## 会議録

**■第7回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議**（1月27日）①国際協会本部研修ツアー（2015年1月11日~16日）の報告②国際理事候補者のローテーション（334複合地区提案）③ライオン誌日本語版委員会との懇談④ライオン誌3月号掲載予定のインタビュー記事内容の確認（城阪世話人提案）⑤確認事項⑥「全日本ライオンズ若手会員フォーラム」開催（330複合地区提案）⑦2020年東京オリンピック・パラリンピック支援のお願い（330複合地区）⑧GMT報告とお願い⑨2015-17年国際理事候補者のあいさつ⑩各種委員会・連絡会議⑪日本ライオンズ連絡事務所運営関係⑫その他

**■第7回ライオン誌日本語版委員会**（2月5日）①2014-15年度ライオン誌日本語版事務所上半期決算報告②2014-15年度ライオン誌日本語版事務所上半期監査報告③議長連絡会議との合同検討会④2015年2月号（1月20日見本／9万7700部発行）出来⑤3月号記事内容の確認⑥4月号以降台割（案）と主要記事予定⑦その他

**■第3回複合地区会則委員長連絡会議**（2月18日）①前回会議要録の確認②クラブ例会と家族会員の出席義務③現職地区ガバナーと議長の兼任④2015-16年度ライオンズクラブ役員必携の製作⑤2015-16年度ライオンズクラブ役員必携の配布

**■第2回LCIF複合地区コーディネーター会議**（2月19日）①実績報告・エリア別討議、各エリア・コーディネーター発表・各複合地区コーディネーターより「実績報告及び今後の見通しとその対策」発表②協議事項：国際会長感謝状、LCIF理事長感謝状の振り分け、配布資格等について

**■第8回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議**（2月24日）①第54回OSEALフォーラム（バンコク）第1回ステアリング委員会（2月13~15日）②（仮称）「事務所統合検討委員会」設置に関して③今後の各種会議開催と旅費（GMT／GLT／FWT等含む）④第3回複合地区会則委員長連絡会議報告⑤複合地区国際大会委員長連絡会議（小委員会）報告⑥山田国際第1副会長関連⑦コーリュー国際第2副会長公式訪問収支報告書⑧2020年東京オリンピック・パラリンピック支援のお願い（330複合地区）⑨GMT報告⑩各種委員会・連絡会議⑪日本ライオンズ連絡事務所運営関係⑫その他

## 新結成／解散クラブ

**■新結成クラブ**

群馬県・伊勢崎絆（後閑千代壽会長／30人）▼

## 100周年記念会員増強チャレンジがスタート

2017年の国際協会100年祭に向けて、100周年記念会員増強チャレンジのアワード・プログラムがスタートする。アワードの対象となる期間は、今年4月1日から2018年6月30日まで。この間に新会員をスポンサーした会員には特製ピンが、新クラブのスポンサーとなったクラブには表彰状とバナーパッチが贈られる。

「我々の奉仕の力を増大させることによって奉仕するチャンスです。新会員を招請し、新クラブを結成して奉仕の可能性を拡大しましょう」

ジョー・プレストン国際会長は世界のライオンズにこう呼び掛けている。

**【会員に対するアワード】**

累進アワードが含まれ、段階ごとに期間限定のピンが贈られる。各アワードの名称と条件、表彰の内容は以下の通り。

**■100周年スポンサー**：対象期間中に新会員1人をスポンサー、あるいは新クラブ結成を支援した会員。表彰状を贈呈

**■シルバー100周年ライオン**：スポンサーした新会員あるいは新クラブが1年と1日以上グッドスタンディングを保持。国際協会ウェブサイトに氏名を掲載

**■ゴールド100周年ライオン**：スポンサーした新会員あるいは新クラブが2年と1日以上グッドスタンディングを保持。地域フォーラムと地区及び複合地区年次大会で氏名を発表

**■ダイヤモンド100周年ライオン**：スポンサーした新会員あるいは新クラブが3年と1日以上グッドスタンディングを保持。『ライオン誌』に氏名を掲載するか、それと同等の表彰

**【クラブに対するアワード】**

**■プレミア100周年ライオンズクラブ**：2015～17年の間に少なくとも3人の新会員を迎え、その会員が2年と1日以上在籍したクラブ、あるいは2015～17年の間に少なくとも一つの新クラブをスポンサーし、その新クラブが2年と1日以上継続したクラブ。スポンサーした新クラブが2年と1日以上継続した場合、プレミア100周年ライオンズクラブにはバナー・パッチが贈られ、国際協会ウェブサイトで紹介される他、国際大会、地域フォーラム、地区及び複合地区年次大会で表彰

**■ワールドクラス100周年ライオンズクラブ**：2015年、16年、17年の各年に、少なくとも3人の新会員を迎え、かつ3年間に最低一つの新クラブをスポンサーしたクラブ。プレミアと同等の表彰に加えて、地区ガバナーから特別アワードを受け、特別デザインのピンが各会員に贈られる他、『ライオン誌』に掲載

2月27日認証▼スポンサー／伊勢崎佐波

**■解散クラブ**

2月＝宮城県・松島／和歌山県・紀の川サンビューティ

### 訃報

**■元国際役員**

遠藤英二（兵庫県・神戸ホスト）
2月13日死去。86歳。99年度335・A地区ガバナー。

飯塚信一（千葉県・成田）
2月21日死去。82歳。02年度333複合地区ガバナー協議会議長、333・C地区ガバナー。

奥島団四郎（愛媛県・松山道後）
2月27日死去。92歳。86年度336・A地区ガバナー。

◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

### 国際大会開催予定

第98回＝15年6月26日～30日　アメリカ・ハワイ州ホノルル

第99回＝16年6月24日～28日　日本・福岡

第100回＝17年6月30日～7月4日　アメリカ・イリノイ州シカゴ

第101回＝18年6月29日～7月3日　アメリカ・ネバダ州ラスベガス

第102回＝19年7月5日～9日　イタリア・ミラノ

# 国際大会代議員の資格証明と投票

**●代議員の選任**

クラブは会員25人及び端数13人以上につき、代議員及び補欠代議員をそれぞれ1人、大会に派遣出来る。会員数が13人に満たないクラブでも、代議員及び補欠代議員1人を出す権利を持つ。代議員数は大会開催月の前月1日付け国際本部記録にある会員数から算出されるので、ホノルル国際大会の場合は5月1日現在の会員数が基準になる。複合地区及び地区年次大会の代議員は、少なくとも1年と1日クラブに在籍している会員の会員数が算出基準となるが、**国際大会の場合は在籍期間の制限はない。**

**●大会登録**

代議員及び補欠代議員となるには大会登録が必要。現地で手続き可能だが、混雑を避けるためにも予備登録がお勧め。公式ウェブサイトでオンライン登録するか、登録用紙をダウンロードしてメールまたはファクスで送信し、クラブの国際協会送金口座3に送金する。複合地区を通じたグループ登録や公認ツアーを利用する場合は、各複合地区へ確認を。

**●代議員資格証明書の提出**

代議員投票を行うには「代議員／補欠代議員資格証明書」（左ページ）を提出して現地で資格審査を受ける。用紙は大会登録の確認書と一緒に郵送される他、左ページのコピー、あるいは公式ウェブサイトでダウンロードして使用する。用紙の上半分が国際協会提出用、下半分は現地で資格証明窓口に提出する控え。どちらも、代議員か補欠いずれかを選んでチェックした上、ローマ字で氏名を記入して代議員本人が署名し、その下にクラブ会長、幹事または会計が署名する。署名は漢字でもローマ字でも可だが、**本人の署名は、現地での資格証明手続きの際に提示する身分証明書と同じ署名にする。**書類の上部分は5月1日までに到着するよう国際本部へ郵送。5月1日までに送付出来なかった場合、記入及び署名済み資格証明書を現地に持参する。

**●現地での資格証明手続き**

代議員投票を行うには、投票前日の6月29日午後5時までに資格証明の手続きを完了しなければならない。**投票日当日は手続きが行えないので注意したい。**

代議員資格証明窓口（Credentials Certification Counter）はホノルル・コンベンションセンター（HCC）に設けられ、6月26日～29日午前9時半～午後5時まで開いている。窓口には係員の他に資格証明委員が待機していて、日本人の委員がサポートしてくれる。資格証明書上部分を郵送済みの場合

は、控え（下部分）に身分証明書と大会名札を提示。郵送済みでない場合は、記入及び署名済み資格証明書に身分証明書と大会名札を添え提示する。身分証明書は、原則として政府発行の署名と顔写真の入った身分証明書で、昨年まで有効だったライオンズ会員カードは使用出来ない。国際本部によれば、**有効な身分証明書はパスポート（署名と写真が鮮明であればコピー可）、顔写真付きの主要なクレジットカード（VISA、MASTER、JCB等）、運転免許証（原本）。**

本人確認が済むと、資格証明カード（Credential Card）への電子署名を求められる。署名が終わると、係員から「DELEGATE（代議員）」のシールを貼った名札、資格証明カードの控えを受け取り、手続きが終了する。補欠代議員も同様に手続きを行うが、署名は求められず、資格証明カードの写しも手渡されない。名札には「ALTERNATE DELEGATE（補欠代議員）」のシールが貼られる。

**●投票**

投票は6月30日午前7時半～10時半まで、HCCで行われる。代議員は「DELEGATE」のシールが貼られた名札を付け、資格証明カードの写しを持って、カード左上に書かれた番号のブースに行く。ブースは言語別に分かれていて、日本語ブースには日本語の投票用紙が用意してある。ここで資格証明カードの控えを提出し、電子署名で本人確認をして、投票用紙を受け取って投票場へ入り、投票を行う。

＊変更が生じる場合があるので、会場や日時は登録資料として配られる大会プログラムで確認ください

## ライオンズクラブ国際協会へ提出

（2015年5月1日までに国際本部へ郵送してください）

ライオンズクラブ国際大会 - 2015年　米国ハワイ州ホノルル

クラブ番号：　　地区：　　代議員割当数：

会員数：

クラブ名：

住所：

**代議員割当数については国際会則第6条第2項をご参照ください。**

**これは大会登録用紙ではありません。**各代議員は、資格証明を受ける前に、大会登録用紙に登録手数料を添えて国際協会の大会部あてに**必ず**提出してください。登録には、ライオンズクラブ国際協会のウェブサイトからダウンロードした用紙をご利用いただくか、もしくはライオンズクラブ国際協会のウェブサイト（www.lionsclubs.org）でのオンライン登録をしていただくことが可能です。

該当するものを一つ選択：　☐ 代議員　または　☐ 補欠代議員

氏名（ローマ字）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記署名者は、上記の者が正会員であり、本年度ライオンズクラブ国際大会への代議員（または補欠代議員）として、当ライオンズクラブにより正式に任命されたことをここに認定する。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

クラブ役員の署名

本書類の上半分をライオンズクラブ国際協会（クラブ役員及び会員記録課宛て）に2015年5月1日までに郵送してください。この期日以降は大会会場にご持参ください。

Lions Clubs International, 300 W. 22nd Street, Oak Brook, IL 60523-8842 USA

JA

---

## 代議員／補欠代議員控え

（この控えを国際大会にご持参ください）

ライオンズクラブ国際大会 - 2015年　米国ハワイ州ホノルル

クラブ番号：　　地区：　　代議員割当数：

会員数：

クラブ名：

LCI stamp for Alternate Delegate

住所：

**代議員割当数については国際会則第6条第2項をご参照ください。**

**これは大会登録用紙ではありません。**各代議員は、資格証明を受ける前に、大会登録用紙に登録手数料を添えて国際協会の大会部あてに**必ず**提出してください。登録には、ライオンズクラブ国際協会のウェブサイトからダウンロードした用紙をご利用いただくか、もしくはライオンズクラブ国際協会のウェブサイト（www.lionsclubs.org）でのオンライン登録をしていただくことが可能です。

該当するものを一つ選択：　☐ 代議員　または　☐ 補欠代議員

氏名（ローマ字）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記署名者は、上記の者が正会員であり、本年度ライオンズクラブ国際大会への代議員（または補欠代議員）として、当ライオンズクラブにより正式に任命されたことをここに認定する。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

クラブ役員の署名

## 第99回ライオンズクラブ国際大会ホスト委員会

# 福岡国際大会は千載一遇の好機

2016年6月24～28日、第99回国際大会が福岡市を舞台に開催される。
日本では2002年の大阪国際大会以来14年ぶり、4回目の開催となる国際大会の成功に向け、
国際本部のサポート役である国際大会ホスト委員会は、現地での準備を着々と進めている。

■**不老安正**（第99回国際大会ホスト委員会委員長／元国際理事）　■聞き手／**寺越愼一**（ライオン誌日本語版委員長）

### 日本人国際会長がつかさどる大会

**寺越**　これが福岡国際大会のポスターですね。「Do for People, Do for World」はスローガンですか？

**不老**　ポスター上部に描かれているのが大会ロゴで、モチーフは梅の花、福岡の県花です。このスローガンは「動きだそう！人々のために、世界のために」という意味で、ライオンズの奉仕の理念を示すものであり、ホスト委員会として国際大会に込めた願いでもあります。ホスト委員会は国際本部が企画実施する国際大会のお手伝いをする組織で、17の実行委員会で準備に当たっています。

**寺越**　委員長としてはどのような国際大会にしたいとお考えですか？

**不老**　世界中から多くの会員に参加して頂いて意義のある大会にしたいというのが、地元の思いです。国際大会は代議員投票による決議機関であると同時に、年に一度ライオンズの理念を確認し合い、世界のメンバーが交流する場でもあります。一連の行事をただセレモニーとして終わらせるのではなく、出来るだけ実りあるものにしたいと考えています。

日本のライオンズにとって、福岡国際大会の最大の特徴と言えるのは、ライオン山田實紘が国際会長として主宰する大会であるということでしょう。日本で開かれる大会を日本人国際会長がつかさどるというのは願ってもない夢のようなことです。２０１６年国際大会の開催地が福岡と決定したのは、山田副会長が立候補を表明されるより前のことでしたからね。またと無いこのチャンスを逃さないようにして頂きたいです。

**寺越**　その開催地に決まった経緯を簡単に教えてください。

**不老**　決定したのは東日本大震災発生から1カ月後の、11年4月の国際理事会でした。国際大会招致は都市が行うもので、理事会メンバーによる投票で選びます。福岡市が全力で取り組んでくれたことが良い結果につながったと思います。福岡市ではこれまでにユニバーシアードや世界水泳などが開かれていますし、東京に次いで国際会議が多い都市ですが、来年の国際大会は市が始まって以来最大のイベントになるものと期待されています。

### ライオンズをPRするチャンス

**寺越**　昨年12月には国際本部による現地視察がありましたが、会場などの準備は順調に進んでおられるようですね。

**不老**　視察は山田国際第1副会長、ロバート・コーリュー国際第2副会長と、大会部などのスタッフによって行われ、ホスト委員会に対して高い評価を頂きました。大会招致にはホテル6千室、総会会場となる1万2千人以上収容の施設、インターナショナル・パレード・コースの確保の三つが大きな条件になっています。福岡では本部ホテルのヒルトン福岡シーホークに７００室余りを抑え、福岡市内約40のホテルで6千室を確保しました。それだけでは足りませんから近隣のホテルも手配しています。総会の会場は福岡ドームです。登録会場や展示場を含む大会サービス・センターは、マリンメッセ福岡を中心とするコンベンション施設を利用します。地区ガバナー・エレクト・セミナーもこのコンベンション・エリアが会場となる予定です。インターナショナル・パレードは博多どんたくと同じコースで、管轄する県の許可が下りました。博多駅と天神を結ぶ明治通りを、どんたく以外のパレードで使うのは初めてのことです。百数十カ国から集まったライオンズによる華やかなパレードで、市民の皆さんにライオンズをアピール出来ると思います。

寺越　中心街の一般道でパレードとなると大変でしょうが、それだけに期待は膨らみます。市民にライオンズをPRしようというのは、とても良いことですね。

不老　ライオンズクラブは献血や福祉、青少年育成など地域でさまざまな奉仕活動を行っていますが、市民にはあまり認識されていません。この国際大会を良い機会と捉え、市民の皆さんにライオンズを知ってほしい。そこで、大会に合わせて市役所や百貨店など多くの人が集まる場所でアクティビティ写真展を開いて、ライオンズの奉仕を市民に見てもらってはどうかと、地元337‐A地区の第1副地区ガバナーと相談しているところです。

## 国際性を肌で感じてほしい

寺越　大会企画は国際本部が行うということですが、主なプログラムの中でホスト委員会が担当される部分はありますか?

不老　インターナショナル・ショーの出演者の選考はホスト委員会が行います。現在のところ、1時間半を2部に分けて、第2部には和太鼓演奏グループTAOの出演が決まっています。第1部についてはまだ交渉中ですが、多くの皆さんに喜んで見に来て頂けるような出演者を考えているので、ぜひご期待ください。

寺越　17年前、私の所属クラブから地区ガバナーが出て、イギリス・バーミンガムでの国際大会に初めて参加したのですが、その時に世界のメンバーが一堂に会するのを見て、これがライオンズだと肌で感じました。日本国内での開催というチャンスに、多くのメンバーにそんな体験をしてもらいたいですね。私は広島ですから、新幹線を使って日帰りで通おうかと話しています。

不老　確かに九州南部や中国地方からは日帰りで無理なく通えます。アメリカやヨーロッパで開かれる国際大会の場合、日本からの参加者は常連の方が多いです。来年はまだ国際大会を経験したことがないメンバーにも積極的に参加してもらいたい。多彩な大会プログラムを楽しむと同時に、地区年次大会、複合地区年次大会の先に国際大会があり、代議員投票という形でクラブが協会の意志決定に参加しているという仕組みも、直に体験して理解してほしいですね。ホスト委員会として、ご期待に添える大会になるよう最善を尽くします。多くのメンバーのご参加をお待ちしています。

**MyLCI**

# 100周年記念奉仕チャレンジのアクティビティ報告

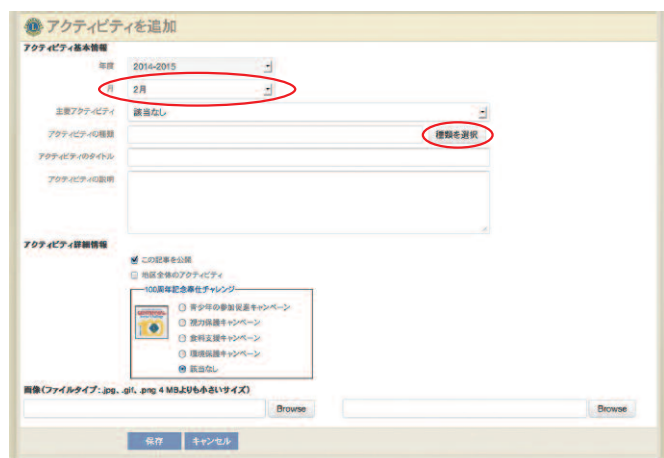
2年後の国際協会創設100周年をライオンズの神髄である奉仕によって祝おうと、昨年7月から「100周年記念奉仕チャレンジ」が始まった。「青少年」「視力」「食料支援（飢餓）」「環境」の4分野でそれぞれ2500万人、合計1億人に奉仕をしようという挑戦だ。対象となる事業を実施したクラブは、国際協会のオンライン報告システムMyLCIでアクティビティ報告を行う際に該当分野を選択すれば、チャレンジへの参加が記録される。

日本のクラブの場合、国内のオンライン報告システム「サバンナ」で報告を行う際、サバンナの上部に出ているMyLCIのリンクをクリックすると自動的にMyLCIへログイン。改めてページを立ち上げたりログインし直す必要はないので、月次報告の時に本部への報告も併せて実行しておくと良いだろう。ここでは国際本部の協力を得て、その報告手順を簡単に紹介する。

❶MyLCIへはeMMR ServannAの上部に表示されているリンクをクリックすると、自動的にログイン出来ます

❷MyLCIに入ったら、上部メニューの「ライオンズクラブ」をクリックして、プルダウンメニューから「アクティビティ」を選択します

❸「アクティビティ」ページで、「アクティビティを追加」ボタンをクリックします

❹「アクティビティを追加」ページで、「月」のプルダウンリストから、何月分の報告か選択します（デフォルトで、当月が表示されています。今年度の月をさかのぼって報告することも出来ます）。次に「種類を選択」をクリックすると、「アクティビティの種類を選択してください」というポップアップウィンドウ（❺）が開きますので、その中から最も近いと思われるアクティビティの種類を選択してください

❺100周年記念奉仕チャレンジの対象となるアクティビティの種類には、100周年記念奉仕チャレンジのロゴが付いています

❽アクティビティのタイトルと説明を入力します（タイトルは必須ですが、説明は必須ではありません）

選択したアクティビティの種類に基づいて表示されたデータ欄に、参加した会員数、奉仕時間合計、奉仕を受けた人の数、寄付金額、獲得金額など、アクティビティに関連するデータを入力することが出来ます。これらは必須項目ではありませんが、統計に含めるためには、データ欄に入力する必要があります。データ欄には、数字のみを半角で入力してください。
※注意：カンマ、小数点、円記号などは含めないでください

●アクティビティの画像を二つまでアップロードすることが出来ます（画像を加えることはオプショナルです）
※注意1：画像の最大サイズは4MB
※注意2：使用出来る画像ファイル形式：.jpg、.gif、.png

**最後に必ず、「保存」をクリックしてください**

※アクティビティのページで、「サポートセンター」をクリックすると、「よくある質問」があります

●100周年記念奉仕チャレンジのアクティビティを報告すると、MyLCIのホームページにある「アクティビティ」のパネルに表示されている四つのキャンペーン（青少年、視力、食料支援、環境）のうち、報告済みのキャンペーンにチェックマークが付きます

**アクティビティ**

**最近のアクティビティ**

国際平和ポスターコンテスト入賞者へ賞状

**2014-2015 アクティビティ概要**

| | |
|---|---|
| アクティビティ件数 | 17 |
| ライオンズ奉仕時間合計 | 157 |
| 獲得金額 (JPY) | 114092.00 |
| 寄付金額 (JPY) | 123266.00 |
| 奉仕を受けた人の数 | 1171 |

100周年記念奉仕チャレンジ

| 青少年 | 視力 | 食料支援 | 環境 |
|---|---|---|---|
| ✓ | ✓ | | ✓ |

❻100周年記念奉仕チャレンジのロゴが付いているアクティビティの種類をクリックすると、「100周年記念奉仕チャレンジ」の部分にある該当キャンペーンに、自動的に印が付きます

❼アクティビティの種類に100周年記念奉仕チャレンジのロゴが付いていない場合には、そのアクティビティの種類をクリックし、「100周年記念奉仕チャレンジ」の箇所で、四つのグローバル奉仕実施キャンペーン（青少年、視力、食料支援、環境）のうち一つを選択することが出来ます

【重要】四つのキャンペーンのうち一つが選択されていないと、100周年記念奉仕チャレンジのアクティビティを報告されたことにはなりませんので、ご注意ください

**LCIF献金をアクティビティとして報告する場合**

●用途無指定献金の場合：各会計年度に1回、クラブはMyLCIで用途無指定のLCIF献金を100周年記念奉仕チャレンジの表彰対象となるアクティビティとして報告することが出来ます。MyLCIでそのアクティビティを報告するには、アクティビティの種類では「LCIFへの寄付」を選択し、「100周年記念奉仕チャレンジ」に表示されている四つのグローバル奉仕実施キャンペーン（青少年、視力、食料支援、環境）のうち、いずれか一つを選択します。用途無指定献金ですが、各会計年度に1回は一つのキャンペーンを選択することが出来ます。この作業を行うことにより、100周年記念奉仕チャレンジの表彰対象となります。

●用途指定献金の場合：上記と同じ方法で、指定した用途に該当するキャンペーンを選択します。

# LCIF FILE

Foundation Impact / LCIF Development Update

Foundation Impact

## 一つの学校が生み出す「大きな一歩」

コンゴ民主共和国のケンバに住む保護者たちは、子どもに教育を受けさせるため、自力で学校を建設した。が、資金不足のため、学校には教室がたった一つ。しかも、教室とは名ばかりで、窓やトイレはおろか、肝心の机や椅子さえもなかった。

泥とわらで作られた学校は、壁が崩れ落ち、天井からは雨漏りがしていた。理想とは程遠い環境だった。そんな状況であっても、約140人の生徒が、この学校へやって来て、勉強をしていた。

コンゴの識字率は30％程度と言われている。読み書きが出来ない人にとって、就職口を探すことは難しいことだ。この状況を知ったイタリアのアックイテルメ・ホストライオンズクラブは、ケンバの保護者たちに援助の手を差し伸べた。コンゴの首都キンシャサのボンデコライオンズクラブと提携し、新しい小学校の建設に乗り出したのだ。

アックイテルメのライオンたちは、まず4棟からなる校舎の建設を計画した。そのうちの二つは、それぞれ12の教室を持つ建物で、残りの一つは教員用施設と図書館、そしてもう一つには独立したトイレが設けられた。

また、同クラブはこのプロジェクトをサポートするために、寄付を募るイベントを開催した。イタリアの他の地域からも多くのライオンズが参加し、資金集めに尽力した。更に不足分の資金を補うため、LCIFに3万5750ドルの一般援助交付金を申請した。

一般援助交付金はLCIF交付金の中では、最も汎用性が高く、地元で調達される資金の額に合わせて1万ドルから最大10万ドルまでの交付金を提供するもの。対象はクラブや地区の資金調達活動の規模を超えた大規模な人道支援で、主に設備やインフラ整備のニーズに応えるために使用される。典型的な事業対象としては、移動式診療所、ホスピス、医療設備、目の不自由な人や障害者のための施設、眼科診療所、そして発展途上国の学校などがある。

コンゴでの計画は順調に進んだものの、実行には困難な道のりが待ち受けていた。学校建設予定地のケンバは、首都キンシャサから約220キロ南西にある。この地方では、人々の移動手段が徒歩であるため、道路整備が十分ではなく、資材を運ぶため

新設されたケンバの小学校。地域にとって、より良い教育環境を整えるための大きな一歩となる

の大型車両が通行出来る道はほとんどなかった。主な輸送手段としては水路の利用があるが、あいにくケンバの近くには川がない。そのため建築資材はまずボートで川を下り、途中トラックに積み替えられて、最終目的地へと運ばれていった。

ライオンズの努力が実を結び、ついに先生も生徒も安心して過ごせる安全な校舎が完成した。教室は240人ほどの生徒を収容出来、今後は近隣から多くの子どもたちが通うことが期待されている。教室の床はコンクリート製。天井の雨漏りも心配する必要はない。木製のドアも、雨戸付きの窓もあり、教室にはもちろん机と椅子が並ぶ。

学校建設後も、アックイテルメ・ホスト ライオンズクラブの支援活動は継続している。今後5年間は、教科書や文具などの教育資材を提供することで、ケンバの生徒たちの学ぶ環境をサポートしていく。ケンバの人々は、ライオンズクラブのおかげで、読み書きが出来ない現状を克服し、貧困を打破するための一つの手段を手に入れた。

（カサンドラ・バノン）

LCIF Development Update

## LCIF創設50周年記念目標達成への道⑧

LCIF創設50周年記念目標に対する2015年1月度の日本の総献金額は低調だった先月を更に約350万円下回る6983万9348円でした。通算31カ月では左表の通り前月から3・7%増の19億4918万9958円、目標達成率は先月から2・8ポイントアップの79・2%となりました。目標値を100とすると、現時点での日本全体の達成率は92・0%で、先月同様目標を若干下回っています。

地区別では332‐E、333‐C、334‐Cの3地区が100%を超え、見事目標を完遂。既に目標を達成されていた331‐B、332‐C、332‐D、334‐D、335‐A、335‐Dの各地区と共に、35準地区中9地区が目標を達成されたことになります。

この他、通算31カ月時点での目標値（86・1%）を上回っているのは331‐A、333‐D、333‐E、334‐A、334‐B、334‐Eの6地区で、目標の9割以上を達成しているのが9地区となっています。一方、目標の5割台の地区が1地区、5割に達していない地区も1地区あり、目標値からだいぶ離れている地区は、残り5カ月のラストスパートに大きな期待がかかります。

日本全体での目標達成に向けて、ご協力賜りますよう切にお願い申し上げます。（LCIF国際委員、エリア・コーディネーター／桜井孝一、澁田繁晴）

### ■LCIF創設50周年記念目標

地区別献金目標額と目標達成への必要額（円） 2015年1月31日現在

| 地区 | 3年間目標額 | 献金実績 | 達成率 | 目標達成必要額 |
|---|---|---|---|---|
| 330-A | 78,610,732 | 54,766,630 | 69.7% | 23,844,102 |
| 330-B | 155,407,170 | 126,147,725 | 81.2% | 29,259,445 |
| 330-C | 28,515,146 | 27,766,042 | 78.4% | 6,149,104 |
| 331-A | 74,301,215 | 73,294,794 | 98.6% | 1,006,421 |
| 331-B | 24,988,116 | 32,798,867 | 131.3% | ★目標完遂 |
| 331-C | 29,900,483 | 12,072,993 | 40.4% | 17,827,490 |
| 332-A | 25,714,137 | 21,583,081 | 83.9% | 4,131,056 |
| 332-B | 26,621,140 | 22,762,560 | 85.5% | 3,858,580 |
| 332-C | 19,678,628 | 28,881,565 | 146.8% | ★目標完遂 |
| 332-D | 36,951,532 | 45,635,460 | 123.5% | ★目標完遂 |
| 332-E | 13,525,171 | 13,555,147 | 100.2% | ★目標完遂 |
| 332-F | 9,148,074 | 7,341,984 | 80.3% | 1,806,090 |
| 333-A | 45,735,000 | 38,291,591 | 83.7% | 7,443,409 |
| 333-B | 33,824,952 | 26,748,368 | 79.1% | 7,076,584 |
| 333-C | 47,912,696 | 48,209,846 | 100.6% | ★目標完遂 |
| 333-D | 41,663,400 | 36,258,900 | 87.0% | 5,404,500 |
| 333-E | 67,666,459 | 64,287,640 | 95.0% | 3,378,819 |
| 334-A | 343,652,981 | 321,113,511 | 93.4% | 22,539,470 |
| 334-B | 82,442,179 | 71,884,878 | 87.2% | 10,557,301 |
| 334-C | 62,778,240 | 63,298,935 | 100.8% | ★目標完遂 |
| 334-D | 56,337,691 | 65,682,753 | 116.6% | ★目標完遂 |
| 334-E | 52,984,008 | 52,118,944 | 98.4% | 865,064 |
| 335-A | 27,011,634 | 28,024,890 | 103.8% | ★目標完遂 |
| 335-B | 267,297,822 | 142,619,336 | 53.4% | 124,678,486 |
| 335-C | 139,334,483 | 80,943,644 | 58.1% | 58,390,839 |
| 335-D | 26,881,392 | 32,011,590 | 119.1% | ★目標完遂 |
| 336-A | 105,422,415 | 70,656,917 | 67.0% | 34,765,498 |
| 336-B | 54,205,075 | 25,672,875 | 47.4% | 28,532,200 |
| 336-C | 82,736,682 | 62,961,200 | 76.1% | 19,775,482 |
| 336-D | 44,545,115 | 36,021,287 | 80.9% | 8,523,828 |
| 337-A | 158,338,840 | 91,874,511 | 58.0% | 66,464,329 |
| 337-B | 47,676,318 | 37,397,212 | 78.4% | 10,279,106 |
| 337-C | 69,087,180 | 45,625,923 | 66.0% | 23,461,257 |
| 337-D | 49,155,427 | 28,940,545 | 58.9% | 20,214,882 |
| 337-E | 22,580,621 | 17,337,814 | 76.8% | 5,242,807 |
| 全国 | 2,460,507,153 | 1,949,189,958 | 79.2% | 511,317,195 |

●福島県飯舘村

## 成長社会から成熟社会へ

長崎県・諫早ライオンズクラブ（永江正澄会長／117人）は1月31日、50周年記念事業として菅野典雄福島県飯舘村村長の講演と東日本大震災チャリティー・コンサートを諫早文化会館で開催した。菅野村長（飯舘ライオンズクラブ）と懇意な同クラブの井村一男元協議会議長の尽力で、原発事故による全村避難からの帰村を目指し公務多忙な中、駆け付けられたもので、今月の本欄は村長のご好意で、その講演の一部を抜粋し再構成させて頂いた。

◆

平成23年3月11日、あの大地震と大津波によって、東北の太平洋沿岸は壊滅的な被害を受けました。更に絶対安全と言われていた原子力発電所で事故が発生、大変な事態となってしまいました。飯舘村は原発から離れており、当初はあまり心配していませんでした。しかし、風のいたずらで、飯舘村にも放射能が降り注ぎ、水も土も汚染されてしまったのです。

震災から1カ月が経った4月11日、政府は、放射線量が年間積算20ミリシーベルトに達する恐れがあると、村全域を「計画的避難区域」に指定しました。具体的には、おおむね1カ月以内に住民全員が避難せよという指示でした。

これを聞いて、私の頭に浮かんだのは、村をゴーストタウンにしたくないということでした。もちろん住民の健康が大事ですから避難はしますが、何らかの動きを村に残しておきたい。そうすれば後々、村に戻ることが容易になるのではないか。特に気がかりだったのが、特別養護老人ホームのことでした。お年寄りは身体的にも精神的にも環境の変化に適応する能力が減退しているので、その影響が出ることが心配でした。実際、先行して避難させられた原発20キロ圏内の自治体では、多くのお年寄りが、転院を重ねて体調を崩したという話を聞いていました。

調べてみると、同じ場所でも室内は線量が低いことが分かりました。そこで、生活することはだめだとしても、室内で介護を受けるお年寄りや、日中における工場内での仕事など、ケースを限定してこれまで通りの活動を継続させてほしいと、政府に要望しました。

最初は政府もなかなかOKを出してくれなかったのですが、最終的には渋々という感じで承認してくれました。その結果、100人以上のお年寄りが入所する老人ホームの存続と、九つの事業所への通勤が認められました。放射能のリスクと同時に、生活変化のリスクも考慮しなくてはいけないというのが、私たちの基本的なスタンスでした。

21世紀はバランスの時代だと言われますが、右か左か、オール・オア・ナッシングではない、第3、第4の選択肢があってしかるべきだと思うわけです。また、それが私自らの政治信条でもあったので、村の安全（健康）と安心（暮らし）をどう守るかは、我々自身に任せてほしい、上から一律の線引きをするのはやめてほしい、と訴え続けました。

住居にしても、国から提示された移転先は長野県に600戸、山梨県に300戸など、福島からはだいぶ遠方の地域ばかりでした。飯舘村は、原発事故により避難を指示された自治体としては後発組になりますから、近隣の福島市や郡山市など県内のアパートは、先行して避難した市町村の人たちで既にほぼ埋まっていました。ですから、仕方がないと言えば仕方がないのですが、これも「生活変化

のリスク」を考え、お断りしました。
そして役場に戻って職員に、村から1時間か1時間半の所で、何とか避難先を確保してほしいとお願いしました。職員は朝から晩まで、あちこちを回り一次避難先を確保してくれました。その後、仮設住宅が完成して二次避難が始まりましたが、90%の人は村から1時間以内の場所で避難生活を送れることになりました。

飯舘は農業中心の村ですが、商工業に従事する村民も数多くいます。それらの人たちも、村から1時間以内の場所に住んでいれば、少しだけ通勤に掛ける時間を増やすことで、今まで同様、仕事が出来るわけです。

学校も同じで、最初は近隣の町の学校を間借りし、その後、仮設校舎を建てるなどしましたが、一貫して村立の幼稚園、小、中学校を維持してきました。現在、中学生の65%が村立中学校へ通っています。小学生は55%、幼稚園児は35%です。

この数字を皆さんはどのように思われますか？　これでも画期的なのです。

同じように避難を余儀なくされたある町では、700人いた子どもたちを避難先の学校へ一時的に転入させてもらい、4年目に自前の学校を開校しましたが、その学校に通い始めたのは園児2人、小学生5人、中学生8人だけでした。また、1700人の子どもたちがいた他の自体体では、国の指示に従い各地へ分散避難し、子どもたちは全国700校に転校していました。そしてやはり、町に戻って来たのは5%にも満たない60人でした。

飯舘村は震災前の1700世帯から3200世帯へと、世帯数が倍近くに増えています。仮設住宅が狭いため、親と子どもで別々に住むなどしたことが理由ですが、それでも家族同士、友人同士の往来は容易な距離に住んでおり、ストレス軽減に役立っていると考えています。

ただ、1年1年、1日1日と、避難生活が長引くにつれて、村人の気持ちが少しずつ萎えてきているのも事実です。放射能は表土5㌢ほどの所にたまっているそうで、そこをはいでいけば線量は確実に下がります。しかし、はいだものをどうするのか。原発事故は、地震や津波などの天災とは違い、そうしたことが難しい問題となって、住民一人ひとりの心に重くのしかかっています。村の人たちに聴き取り調査をすると、除染されたら村に戻りたいという人が30%弱、戻らないと決めた人が35%、残りの35%近い人はまだ決めかねているという状況です。

そんな中、私たちは全国の皆様から熱い支援を受け、それらを通じていろいろと考えさせられました。飯舘は村の暮らし方として「までいライフ」を宣言しています。「までい」とは福島の方言で、「手間隙を惜しまず」「丁寧に」「心を込めて」「時間を掛けて」「じっくりと」「つつましく」といった意味があります。これを私たちは、小さい村の生き残り策だと思ってやってきましたが、いざ震災に遭ってみると、日本そのものにも通じる考え方だと思うようになりました。

自分のため、自分の家族のため、自分の仕事のためだけに時間を使うのではなく、他人のためにも時間を使う。数えられる豊かさだけではなく、これからは数えられない豊かさも求められるようになると思うのです。成長だけが全てではなく、成熟社会の中でどう成長してくかということを考えていくべき時代になっているのではないでしょうか。

「までいライフ」の根底にある「お互い様」という気持ちを大切にし、安心出来る日本を次の世代にバトンタッチしてもらえれば、復興への長い道のりを歩む私たちも勇気が湧きがんばれると思っているところです。

# 福祉避難所とライオンズクラブ

**佐々木 章**
（宮城県・東松島ライオンズクラブ）

ささき・あきら　1938年岩手県遠野市生まれ。セブンイレブン矢本インター店オーナー。1990年矢本（現・東松島）ライオンズクラブ入会、94年度クラブ会長。01、10、11年度ゾーン・チェアパーソン。

2010年度、私は東松島市社会福祉協議会（以下、社協）の会長職にあった。3月11日は年度末ということで、社協の事務所が置かれている東松島市老人福祉センターで和室を借り、午後から次年度の活動計画、収支予算の最終確認のための幹部会議を開催していた。

そして運命の午後2時46分。突然畳が激しく左右に揺れ、テーブルの脚が畳を何度もたたいた。部屋全体が悲鳴を上げ、数十秒間立ち上がることすら出来なかった。

社協事務所に戻ってみると、机はあらぬ方向に向きを変え、机上の電話器、書類、文具等は床に散乱していた。職員は私の指示を待つまでもなく、福祉避難所の開設に向けて動いていた。福祉避難所とは、学校等の一般避難所では対応出来ない、要介護や車椅子など24時間ヘルパーの手助けが必要な方たちのための場所である。玄関前にテントを設営、非常用発電機を起動、収容場所となる集会室へベッド、布団、毛布、ストーブ等を搬入した。この日は夕方から雪になるほどの大変寒い日であった。水道は地震で止まったままなので、ありったけのバケツに駐車場の雪をかき集め、水不足に備えた。

果たして地震から2時間後、ずぶ濡れで最初の被災者が運び込まれてきた。それからは、救急車で、パトカーで、消防車でと次々と続いた。大部分の人は津波で全身が濡れ、折からの寒波で低体温症になっていた。被災者が運び込まれる都度、ヘルパーは総がかりで衣服をハサミで切り割き、雪を溶かした湯をペットボトルに入れて体を温め、全身マッサージを施した。こうして死を免れた人が何人いたことか。

地震発生後、初のクラブ例会は3月23日であった。席上、332・C地区キャビネットからの連絡で、近日中に各被災地に支援物資が届けられるとの報告があった。中身は食料品である。私は社協の会長として福祉避難所を運営している立場から、「食料が全く不足しているので、東松島ライオンズクラブの分は全て社協に頂けないか」と申し出た。出席者全員が賛同してくれて、ありがたく頂戴することになった。

支援物資到着の日、クラブ三役と社協の職員が待機する中、予定時刻より遅れてトラックが商工会の駐車場に到着した。早速積み荷の中から、東松島ライオンズクラブ分の5キロ入りタマネギ、ニンジン、ジャガイモ各5袋を社協の車に積み替えて、福祉避難所が設置されていた老人福祉センターに運んだ。

数日後、支援物資の第2弾が到着した。この中からも福祉避難所や、社協が開設した災害ボランティア・センターで必要なものを頂いた。20キロ入りの米20袋、トイレットペーパー15ケース、ゴム長靴50足等である。

福祉避難所への避難者は付き添いの介護者を含めピーク時で80人となったが、順次市内の福祉施設等へ移送し、震災から約1か月後の4月9日、おかげさまで無事閉所することが出来た。

7月からはゾーン・チェアパーソンとして、ゾーン内5クラブと相談し、石巻・東松島両市の被災小中学校14校に対し、合同で770万円相当の教材を支援した。

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）
●投稿要領：
会員及び家族によるエッセー、提言など。1,600字程度

# 日本アイバンク協会50周年を迎えて

池崎 道男（東京）

我が国では昭和33年に、角膜移植による失明回復が初めて法律で認められました。以来、献眼推進はライオンズの社会奉仕の大きな柱の一つとなり、日本各地のアイバンクと力を合わせて、地域住民の皆さんへの献眼協力意識の啓発に努力してきました。現在、全国に54カ所あるアイバンクの役員や、サポーターに就いておられるライオンも多数おられます。

尊い献眼によって目が見えるようになった人々の喜びは、大変に大きなものです。生活の質の向上はもちろんのこと、これらの人々が我が国の社会のために寄与するところも、一段と大きなものになることは明らかであります。

これまでライオンズを始め関係者の努力により、角膜移植医療及びアイバンク制度による献眼の推進が図られ、多くの視覚障害者の方々が視力を得ることが出来ました。それでもまだ、角膜移植を必要とする失明者の年間発生数（推定５千人）に比べ、国内での角膜の提供数（献眼数）は約１５００件程度と大幅に少ないのが現状です。アメリカなどからの善意の角膜提供（年間千件強）により一部を補ってもなお、待機患者が毎年度末で2千人にも上り、申し込みから移植手術まで数年間待機することも珍しくありません。

一方、ＷＨＯ（世界保健機関）を始め、国際的な論調は、眼球を含む臓器移植ツーリズム（外国で臓器を買って移植を受けること）に批判的で、原則として自国内で供給すべしとする意見が強く、輸入角膜もいずれ制限されるかもしれません。国民が献眼に協力してくれるよう、働き掛けを格段に強化することが、今まさに必要とされております。

イラスト／小川和政

さて、全国54アイバンクを会員とする公益財団法人日本アイバンク協会は昭和40年に創立され、今年50周年を迎えます。これを契機として広報啓発活動を強化し、献眼及びアイバンク活動への国民の理解と協力を求め、「愛の献眼」の大幅な増加、待機患者の解消を目指します。

そこで今後一層の広報啓発の発展・強化や、眼球斡旋のためのアイバンク情報ネットワーク整備等、50周年の記念事業実施計画を策定しました。その中のアイバンク活動の意義と実践状況を紹介するＤＶＤでは、ライオンズクラブの協力が大きく取り上げられる予定です。こうした事業の財源は、そのほとんどを全国からの善意の寄付や助成に依っており、各ライオンズにもご理解ご協力を切にお願いしております。

330・A地区（塩月藤太郎ガバナー）では第2回キャビネット会議において賛同を得、本年2月に献眼・献腎・臓器移植委員会（橋本光祥委員長）から各クラブに、一人２００円の募金を呼

び掛けました。また私の所属する東京ライオンズクラブでは結成以来、盲人福祉を最重要目標としており、この度呼び掛けに応え10万円の拠出を決定致しました。

ぜひ全国のライオンズクラブにもご協力をお願い申し上げます。（日本アイバンク協会常務理事／元330-A地区ガバナー）

※パンフレット、ポスター等の広報活動資料をご希望の方は日本アイバンク協会事務局（TEL：03-3293-6616）へご連絡ください。

# 支援の輪、国境を超えて

日野 修一（島根県・松江葵）

この空の下　僕らは生まれ／雲の流れと　共に育った／世界に誇るシェムリアップに／若い命の弾む歌声／カンボジアの未来は僕らの腕の中

（希望小学校校歌）

2003年、松江葵ライオンズクラブは、それまで2人の会員が携わっていたカンボジア支援活動に、クラブ全体で取り組むことを決議。NPO法人（現NGO）国際人権ネットワーク代表の緒方由美子氏と初めて面談した。以来、カンボジア・シェムリアップ州モンドルバイ村での支援活動を展開している。ここは世界遺産アンコールワットに隣接する村である。

資金は、地元・武内神社の夏祭りでカンボジアの現状を訴える写真や地雷を展示し、毎年30万～50万円の浄財を得た。加えてクラブに指定ドネーション「カンボジア支援」を創設し、年間100万円を確保。更に姉妹クラブである台湾・高雄市大同獅子会、当クラブ10周年記念にエクステンションした隠岐海士ライオンズクラブの協力を得た。

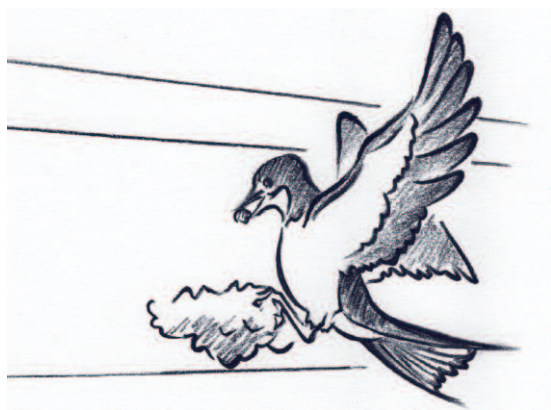
04年2月、現地を訪問。最も過ごしやすい乾期とはいえ35度を超える強い日差しの中、モンドルバイ村の希望小学校全校生徒、1～3年生140人が、2時間前から私たちの到着を待っていてくれた。この学校は村民たちが資金を出し合い作られた民間塾で、生徒たちは皆中流以上の家庭の子である。それでも経済的理由から学校を去る子が半数に上るという。日本から持参した学用品を渡すと、早速絵を描く子、宝物のように胸に抱く子。精一杯のたどたどしい日本語で「アリガトウ」を連発した。学校の屋根や壁は草ぶきで、学習環境を整える必要を感じた我々は、ブロックによる堅牢な校舎の建築を指示した。

1年後、その引き渡しに訪れると、この地域には珍しい鉄骨モルタル塗の白亜の殿堂が建っていた。校庭中央にはカンボジアと日本の国旗が掲揚され風に翻る。歓迎とお祝いの気持ちを表す伝統芸能アプサラダンスが始まった。踊り手は、自立を目指す生徒のための職業訓練施設「友情の家」の卒業生だ。我々はこの施設の支援も行っている。仏教国にふさわしいきらびやかな衣装と、ゆったりとしたテンポは長旅の疲れを癒やしてくれた。

希望小学校はその後、各地の企業や篤志家によって新しい教室が増設され、生徒も増加。6年制の学校として教育省に認定されて、中学に進級出来る公式学校に成長した。

13年に訪れた時は、統一された学生服で迎えてくれた。我々は「緒方由美子・松江葵ライオンズクラブ図書館」を創設し、誰でも自由に本を読める場を提供した。

小さな校庭で運動会も開催した。希望小学校を卒業した女子中学生5人も参加してくれた。パン食い競争、二人三脚、競い合いや力を合わせる大切さも大きな経験になったであろう。立派に成長した子どもたちを見て、彼らが新しい文化を作り、新しい生活環境を築いてくれることを確信した。

我々は友情の家も訪問した。全員にユニフォームとノートを手渡し、事前に送っておいた隠岐海士ライオンズクラブからの贈り物の自転車10台に、用意してきたステッカーを生徒と一緒に張り付けた。遠方から通う生徒は通学が楽になるだろう。現在、同施設は格上げされ州立となった。生徒の一人が「地域を支える人づくりの最中だ」と胸を張って答えてくれた。

カンボジアの歴史は受難の歴史である。ヨーロッパ列強に翻弄され、愚民政策による学校教育の禁止、そして内戦。1975年に樹立したポルポト政権下では、人口1千万人のうち3分の1が虐殺されたという。93年、中国に亡命していたシアヌークが帰国、再び王政復古を遂げるも、志半ばで生涯を閉じた。

以降20年余り。この国にはまだまだ課題が山積している。雨季対策の灌漑、地雷除去、インフラ整備、そして何よりも大切な人材の育成が急がれる。為政者の責任は重い。希望小学校の子どもたちが歌う校歌のように、未来が開けることを祈る。

# 会員増強はどの手でいくか

宇田 和博（広島双葉）

私が入会した頃、広島双葉ライオンズクラブには60人以上の会員がいて、例会は活気があった。今はどのクラブに聞いても会員が減少しており、例会訪問しても何か寂しい気がする。

今、「会」が多すぎる時代ではある。自分のしたいことをするために会を作り、自由に活動する。私の「竜馬会」がそうである。

この指止まれ、と言うと、何人かが集まってきてくれる。他の竜馬会から会報や催しの案内、また企業から竜馬関連の新製品の見本などが届く。会を作る価値はやはりある。我が竜馬会には今、100人以上の会員がいる。会費は0円なので、「入ってよ」と言えば大抵の人が入会してくれる。

定年退職した人たちが名刺に肩書きを欲しがったりして、自ら立ち上げ会長となることもある。それゆえ会がやたらに増え、多様化、分散して、今までの会の会員が減少していくのだろう。ライオンズにおける会員減の大きな理由は人口減少ではないのだ。

先日、プレストン国際会長が来広され出席した時、ある岡山のメンバーと話をした。会員数8人のクラブの会長をされているという。もちろん事務局

員は居ない。自分たちで全てやる。よく続けられるものだと思ったが、何か楽しそうであった。クラブ代表として各種の集まりに出席し、多くの人と交流出来る。国際大会へも行ける。例会で月に2、3回は友人たちと交流出来る。私はそれまでクラブが少人数になることに危機感、不安感を持っていたが、この人に会い、何の心配もいらないのだなあ、と思った。

「鳴かざれば　それもまた良し　ほととぎす」松下幸之助

　といった思いもある。

　とは言っても、やはり会員が多ければより大きな貢献が出来るし、活気があり、元気付けられていいものだ。

『ライオン誌』9月号「国際会長メッセージ」で、プレストン国際会長が面白いことを書いていた。ライオンズクラブに入っていない人にその理由を聞くと多くの場合、「誘われたことがないから」という答えが返ってくるという。

　以前聞いた話だが、アメリカのある都市に大学が二つあった。その町の大金持ちが片方の大学ばかりに寄付をしていて、もう一つの大学には全くしなかった。後者の大学関係者がある席でその大金持ちと一緒になり理由を聞くと、「何も言ってこないので不要なのかと思っていた」と答えたそうだ。

　地元に伝わることわざにも「庄屋の娘も言ってみなければ分からない」というものがあるが、とにかく言ってみるのが大切ということである。

　不要な物を売りつけるのではない。負担になることを頼むのではない。「あなたの人格を認めているからこそ、入会を誘う」のだ。交際にプラスはあってもマイナスにはならない。尊敬心の発露なのだから、何の遠慮が要るものか。どんどん声掛けしたらいいと思うのだ。

　次に大切なことは、ライオンズ・ライフを楽しいものにすること。ライオンズクラブはこんなにも楽しく、生活を豊かにするものだという実感こそが説得力になる。

　私の友人にトイレ掃除の好きな人がいて、休みになると学校とか公園へ行き、トイレを掃除する。掃除後の爽快感が行動を駆り立てるらしい。ならばライオンズ活動が楽しくないはずはない。このところを実感を込めて話せば、納得してくれるのではないか。

　だがライオンズ・ライフが楽しいと思えるようになるには、正直、時間が掛かるかもしれない。何年も掛かるというのが私の実感である。ある人は、会長職が終わってから楽しくなったと言っていた。しかし工夫と意志で、すぐにでも楽しくすることが出来るはずだ。

　「君も楽しいから入れよ」という思いから、会員増強の声掛けをして仲間を増やし、ライオンズ・ライフを豊かにしようではないか。

（ゾーン・チェアパーソン）

## 日本アイバンク運動推進協議会 第37回全国大会の報告

三村 立身（熊本県・宇土）

　去る11月24日ホテル日航熊本において、日本アイバンク運動推進協議会第37回全国大会が盛大に開催されました。同協議会及びライオンズクラブ国際協会337-E地区の主催で、北は北海道から南は沖縄まで、約500人の参加がありました。

　アイバンク協議会の出口喜男理事長

は講演で、１９７４年の協議会創立以来1年も欠かすことなく本大会を開催してきたが、欧米諸国に比べはるかに献眼者が少ないことが最大の問題であると話されました。

大会のメーン行事である研修会では3人の講師が講演。最初に熊本森都総合病院の松本光希眼科部長が「角膜移植の現状」を、マイクロケラトンによる移植手術の映像を映しながら説明されました。

続いて「持てるもの、人のために」と題して、勧山弘推進協議会最高顧問（静岡県・沼津ライオンズ／真楽寺住職／95歳）が、献眼運動こそライオンズクラブが目指す究極のアクティビティであると話されました。お年を感じさせない張りのある声で力説され、大きな拍手が送られました。

最後に熊本赤十字病院の西村真理子医療社会事業部社会課長が、「熊本県における角膜提供時の流れとライオンズクラブとの連携」を報告されました。私はアイバンク運動の奥の深さと、角膜移植活動推進で最も重要なことは、より多くのライオンズ・メンバーやサポーターが角膜移植についての知識を深め、人間愛による善意の奉仕を再認識することだと感じました。

実は私は80年に、眼球を運ぶために熊本～東京間を約半日で往復するという、貴重な体験をしました。

その日、私は午前10時半に電話を受けました。国立熊本病院に円錐角膜症で入院中の青年の病状が思わしくなく、このままでは失明にもなりかねない。早急に角膜移植手術が必要だが、県内に提供者が見つからない。当時、全国アイバンク運動推進協議会副議長だった勧山の協力で沼津市で提供者が見つかったので、東京の「読売光の事業団」まで頂きに行ってほしい、とのことでした。

すぐさま航空券を手配し機上の人に。羽田空港からタクシーで指定場所に行くと、勧山が既に摘出された眼球を持って待っておられました。提供者のご遺族は勧山から「前途ある青年が今、遠く熊本の地で失明寸前にある」と聞かされ、快く同意くださったそうです。時間も迫っており、お礼もそこそこに熊本へトンボ帰り。午後8時過ぎから、国立熊本病院で二人の青年への移植手術が行われ、見事に成功したのでした。

その翌年、第4回熊本大会においてこの事例を発表しました。壇上では提供者のご遺族と受眼者の青年がガッチリと握手。ご遺族が青年の目を見て「あなたの目の中に父の姿が見えます」と話されると、会場は水を打ったように静まり、あちらこちらからすすり泣く声が聞こえました。

今回33年ぶりに熊本で開催された大会で勧山と再会しました。後日、一緒に写した写真をお送りすると、「誰かがどこかで犠牲を払わなければ、人は助けられません。どうか『持てるもの、人のために』の気持ちを浸透させてください」というお手紙を頂きました。

御歳95歳にして、今なおアイバンク運動にかけられる強い情熱と、視覚障害者の救済にかけられる熱い思いに心を打たれました。

ドリームワークスのキャラクターも乗船!

ゴールデンウィーク利用

アジア最大級

**10%OFF** 旅行代金が ライオン誌購読者限定

# ボイジャー・オブ・ザ・シーズ

# 2015年 日本発着クルーズ

**アジア最大級のアミューズメント・シップが2015年は進化して登場！アイススケートにサーフィン、ショッピングモールまで、なんでもありの「洋上の街」を満喫しながら、ラクラク海外旅行へ！**

**アイススケートリンクがある客船だからこそ!**

浅田真央さんなどが出演の人気アイスショー「ザ・アイス」の演出＆振付を手掛ける

**坂上美紀先生によるトークショーを開催!**

★他にもコラボイベントがたくさん! ボイジャーならではのオリジナル企画をぜひ、お楽しみください。

---

4月6日 締切間近!

東京発～横浜着 ｜ 東京発～名古屋着 ｜ 博多発～横浜着

WOWな船旅! わくわくエンジョイ　ファミリー応援プランあり

## 済州島・博多・名古屋クルーズ

**2015年4月25日㊏～5月1日㊎**　5・6・7日間

★7日間で博多・済州島・名古屋をめぐる盛りだくさんのクルーズ!

■スケジュール

| 日次 | 月日 | | 寄港地 | 入港 | 出港 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4/25 | 土 | 東京(大井ふ頭) | — | 16:30 |
| 2 | 4/26 | 日 | 終日クルーズ | — | — |
| 3 | 4/27 | 月 | 博多★ | 15:00 | 21:00 |
| 4 | 4/28 | 火 | 済州島(韓国) | 9:30 | 16:30 |
| 5 | 4/29 | 水祝 | 終日クルーズ | — | — |
| 6 | 4/30 | 木 | 名古屋★ | 9:30 | 15:30 |
| 7 | 5/1 | 金 | 横浜(大黒ふ頭) | 7:00 | — |

■旅行代金[東京発～横浜着](2名1室お一人様)

**94,800円～700,000円**
(スタンダード内側)　(ロイヤルスイート)

※別途、寄港料／諸費、政府関連諸税および港湾使用料と船内チップがかかります。
★博多からの途中乗船、名古屋での途中下船をご希望の場合はご予約時にお知らせください。
★博多途中乗船5日間の場合、お1人様10,000円引き、名古屋途中下船6日間の場合、お1人様5,000円引きとなります。

---

4月6日 締切間近!

東京発～横浜着 ｜ 神戸発着

ロイヤルな船旅! らくらく満喫

## 沖縄・台湾クルーズ

**2015年5月6日㊗～5月14日㊍**　7・9日間

プロフィギュアスケーター **織田信成さんが乗船!** (東京乗船のお客様限定)

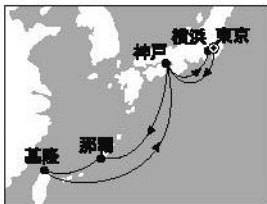
5/6-5/7の2日間乗船決定

★3日間の終日航海でボイジャー船上もたっぷり、じっくり楽しめる!

■スケジュール

| 日次 | 月日 | | 寄港地 | 入港 | 出港 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 5/6 | 水祝 | 東京(大井ふ頭) | — | 16:30 |
| 2 | 5/7 | 木 | 神戸★ | 15:00 | 21:00 |
| 3 | 5/8 | 金 | 終日クルーズ | — | — |
| 4 | 5/9 | 土 | 那覇 | 10:00 | 18:00 |
| 5 | 5/10 | 日 | 基隆(台湾) | 11:00 | 22:00 |
| 6-7 | 5/11-12 | 月-火 | 終日クルーズ | — | — |
| 8 | 5/13 | 水 | 神戸★ | 6:00 | 11:00 |
| 9 | 5/14 | 木 | 横浜(大黒ふ頭) | 8:30 | — |

■旅行代金[東京発～横浜着](2名1室お一人様)

**119,800円～800,000円**
(スタンダード内側)　(ロイヤルスイート)

※別途、寄港料／諸費、政府関連諸税および港湾使用料と船内チップがかかります。
★神戸発着7日間でもご乗船いただけます。
★神戸発着7日間でご乗船の場合、お1人様10,000円引きとなります。

---

●ご予約は以下のURLからお願いします。お問い合わせや書面でのお申し込みを依頼される方はお問い合わせ窓口へご連絡下さい。
URL►http://www.royalcaribbean.jp/cruise/rcl/voyagerentrance.do?AGTCDE=720

●お問い合わせ・書面でのお申し込みは
株式会社 ミキ・ツーリスト クルーズカンパニー　岡崎/井上
TEL 03-5404-8813　E-mail cruise-hp.jp@group-miki.com

●旅行企画・実施
ロイヤル・カリビアン・インターナショナル 日本総代理店
株式会社 ミキ・ツーリスト クルーズカンパニー
〒105-0013 東京都港区浜松町1-18-16 住友浜松町ビル
総合旅行業務取扱管理者 氷川雄介
観光庁長官登録旅行業第1100号 (社)日本旅行業協会(JATA)正会員　ボンド保証会員

ふるさと探訪

静岡県 河津町　取材／河村智子　写真／田中勝明

# 発見から60年。町民が愛し育んだ伊豆半島・河津桜のふるさと

河津町田中に生育する樹齢60年の河津桜原木。つぼみの紅色が濃く、花びらが大きい。下向きに花を咲かせるので、見上げると花弁がよく見える

# 河津

KAWAZU

## 町を薄紅色に染める8千本の桜

伊豆急行河津駅から天城山方面へ向かう町道を1キロあまり進むと、右手に1本の桜の木が立っている。民家の庭先で大きく枝を広げたこの桜が、河津桜の原木だ。樹齢60年。やや樹勢が衰えてきたというが、薄紅色の花を枝いっぱいに咲かせている。早咲きの桜として全国に名をはせる河津桜は、ここで偶然の発見から生まれた。

1955（昭和30）年のある日、この家の主の飯田勝美さん（故人）は、河津川の川辺の草むらに生える高さ1メートルほどの桜の苗木を見つけ、持ち帰った。庭に植えてから10年後に咲いたその桜は、他の桜とは大きく異なっていた。寒気厳しい1月末に開花すると、それから1カ月にもわたって咲き続ける。濃い紅色のつぼみは、開くと色が淡くなっていく。周辺の人たちは、一足早い春を告げ

るこの桜を飯田家の屋号をとって「小峰桜」と呼び愛でた。
　この不思議な桜は、静岡県有用植物園（現・伊豆農業研究センター）の調査で新品種と判明し、伊豆半島に自生するオオシマザクラと早咲きのカンヒザクラが自然交雑したものと推定された。そして74年に「カワヅザクラ」と命名。翌年には河津町の木に指定されて、町民の間に桜を植える動きが広がっていく。まずは観光協会のメンバー有志が河口付近や駅の周辺に200本を植えた。河津ライオンズクラブも100本、また100本と植え、商工会青年部や住民グループなども植樹を行って、やがて堤防沿い4キロにわたり800本の並木が出来た。河津川だけでなく民家や公園、国道沿いなどにも植えられて、今では町内の河津桜は8千本を数える。
　町の人々には、いずれは桜まつりを開きたいという思いはあったが、8千人に満たない町に100万人もの人が訪れることになろうとは、誰も想像すらしていなかった。
　第1回河津桜まつりは91年2月に開かれた。開花期間が長いため、桜まつりの期間は毎年2月10日から3月10日までの1カ月間と長い。第1回の来客数は約3千人だったが、翌

100度の源泉を吹き上げる峰温泉の自噴泉

## 静岡県 河津町

伊豆半島東岸に位置し、天城山に発して相模灘へ注ぐ河津川の河口一帯に市街地が広がる。町内には湯ケ野、七滝、峰、今井浜などの温泉郷があり、古くからの保養地として多くの文豪が訪れた。川端康成ゆかりの宿がある湯ケ野温泉は『伊豆の踊子』の舞台となった。町内で発見された河津桜は早咲きで花期が長いことで知られる。町には8千本が植えられており、2月10日から3月10日の1カ月にわたって開かれる河津桜まつりには、100万人の観光客が訪れる。
総面積／100.79平方キロ
総人口／7,703人（2015年2月1日現在）

【交通アクセス】
伊豆急行河津駅へ熱海駅から1時間半。東京駅からは2時間40分
東名沼津インターチェンジから伊豆中央道、修善寺道路を経由して約60キロ。東名厚木インターチェンジから真鶴道路、熱海ビーチラインを経由して約113キロ

年以降は10倍、20倍の勢いで増加。最も多かった2008年には125万人に達した。

どんな花も年によって開花時期が違うのは当たり前のことだが、河津桜の開花予想は特に難しいのだと言う。1月のうちに咲くこともあれば、2月後半まで遅れることもあり、開花を待ち望む人たちを悩ませる。今年も年初の時点では早い開花が予想されていたが、満開宣言が出たのは2月25日。ここ数年は遅めの傾向にあるそうだ。

河津町では一昨年、河津桜守人マスタープランを策定した。今年は新たに「桜守人制度」を設け、町内23の地区ごとに守人を育成し、桜に関する情報収集や保護の担い手になってもらう。町民が育んできた桜を町を挙げて守り、次世代へと残していこうという計画だ。

全長445.5ﾒｰﾄﾙの旧天城トンネルは1904年開通。日本に現存する最長の石造道路トンネルだ。「踊り子ハイキングコース」など周辺にいくつかのハイキングコースがある

## 千年の時を超え 平安の仏と触れ合う

河津桜が有名になる前は、河津と言えばまず川端康成の小説『伊豆の踊子』の舞台として知られていた。主人公の学生と旅芸人の一行は天城峠を越え、ふもとの湯ケ野温泉に投宿する。作品はこれまで6回映画化されて、旧天城トンネルや河津七滝、山あいのひなびた温泉宿の情景が旅情をかきたてた。国の重要文化財に指定されている旧天城トンネル周辺には、踊り子たちの歩いた山道の風情が今もそのまま残っている。

花見に、温泉に、多くの観光客が訪れる河津だが、この地に千年以上にわたり守られてきた平安時代の仏像があることは、あまり知られていない。谷津地区にある南禅寺(なぜんじ)には、9世紀前半から11世紀の一木造(いちぼくづくり)の仏像26体がある。南禅寺は無住の寺で、仏像は集落の人々によって守り伝えられてきた。毎年4月8日の祭にはお堂に集って僧侶に経を上げてもらい、昔からの言い伝えや仏像のいわれを語り合う。

仏像は現在、2年前に国と県の補助を受けて境内に建てられた河津平安仏像展示館に収められている。

「学術的な説明は出来ませんが、集落の先輩たちから教えられてきたことをお話しします」

案内役の鴬生(おうしょう)忠義さんはそう断った後、調査に当たった研究者の見解も交えながら詳しく解説してくれた。

南禅寺のある山の中腹には、奈良時代に開かれた那蘭陀寺(ならんだじ)という大寺

商工会が企画開発した特産わさびの「泣けるグルメ」シリーズ。上から「河津鮎泣きそば」「泣きめし」「泣きべそ餅」（協力：海鮮どんぶりや／ﾗｲｵﾝ川村朋弘）

院があったが、室町中期の1432年、裏山が崩れて堂宇は土砂に埋もれてしまう。言い伝えによれば、本尊の薬師如来坐像と地蔵菩薩立像、十一面観音像は地表に姿を出していたために救い出され、村人はお堂を建てて安置した。そのためこの3体の仏像は大きな損傷がなく、表面に黒い艶を帯びている。その他の23体の仏像は山崩れから100年余り後、仏谷と呼ばれていた谷から掘り出された。手足を無くし、多くは輪郭が失われているが、中には細かな装飾までくっきりと残した像もある。粘土質の赤土に包まれ密封状態になっていたためと考えられている。

その一つが、「おびんずるさま」として村人に親しまれてきた平安後期作の僧形坐像。自分の身体の悪い所と仏像の同じ部位を交互になでると良くなるというなで仏だ。展示館に移される際、研究者からは平安の木造に触れるなどもっての外と言われたが、これまで通りに信仰したいという地元の人たちの希望で、今も直接手で触れることが出来る。木材をふんだんに使った展示室は設計段階では仏像の前にガラスを入れる予定だったが、これも地元の希望により、間近で直に見られる展示にした。

「11世紀の仏像に直に触れられるのはここだけだそうです。もう半年か1年もしたら、禁止されてしまうかもしれません」

そう話す鴬生さんの表情は、いかにも残念そうだった。

↑南禅寺本尊の薬師如来坐像（平安前期・静岡県指定文化財）。昭和15年に現在の東京国立博物館で開かれた「日本薬師如来展」に国宝として展示されたが、町では条件を満たす施設整備が出来なかったため、従来通りの県指定文化財になったという
→天部立像（平安前期・静岡県指定文化財／写真両端）は、欧州3カ国で巡回展示された際、ギリシャ彫刻に匹敵すると絶賛を浴びた

▼取材協力クラブ

河津ライオンズクラブ（土屋宗一郎会長／18人）＝1984年4月11日結成／スポンサー：下田ライオンズクラブ

結成から間もなく、2度にわたり河津桜計200本を植樹。現在は桜並木の草刈りを実施する。手作りの木製ベンチを駅や観光名所に設置する事業も継続している。またライオンズクラブ杯を競う小学生の野球大会、サッカー大会を主催し、青少年育成にも力を注ぐ。7年ほど前、会員数が10人近くまで減少し解散の危機に直面したが、若い会員の増強に努めて現在までに18人に増加。会員の平均年齢は56歳ほど、今年度になって初の女性会員も迎え、4月に30周年記念式典を控えている。

## 読者から―2月号

■復興の様子が伝わってくる

東日本大震災の発生から間もなく4年になります。

ライオン誌の「東日本大震災復興だより」は地元住民の復興へ向けた力強い姿が伝わってきます。同時に各地のライオンズクラブ関係者のサポートが活発なことも分かり、奉仕の原点を見る思いで読んでおります。

当地にも先行きが不透明のまま避難を余儀なくされている方が大勢おり、痛手の大きさは計りしれないものがあります。唯一の救いは、現状を受け止めながら、前向きに生きる姿勢が笑顔に表れてきていることでしょうか。

混沌とした世の中ではありますが、今後とも、明るいニュースを発信し、ライオニズムを伝え続けてもらいたいものと願っております。

山形霞城ライオンズクラブ●山本脩彰

■PRの特集を

ふるさと探訪は地区は違えど同じ兵庫県なので、とても身近に感じられた良い記事でした。

いつも思うのですが、我が地区も我がクラブもPR下手でどうしようもない。我がクラブもライオン誌に取り上げて頂けるような立派な活動を行い、ぜひPRをしたいと思っております。

誌面がありましたら、PRの勧めのような、特集を組んで頂けるとありがたいと思います。

地区でもPRコンテストはしておりますが、PRの仕方が分からないから出来ていないクラブも多いように思います。

兵庫県・洲本ライオンズクラブ●神田智康

■国際大会が転機になる

国際会長メッセージに大きくうなずいた言葉がありました。それは「国際大会は会員にとって転機となり得る機会に満ちている」という言葉です。というのも、まさに私がそうだったからです。私は昨年、初めて国際大会に行き、パレードやセレモニーに参加したりセミナーを受講。その中でさまざまなスピーチも聞きました。こうしてライオニズムの奥深さと広がりを目の当たりにし、自分の中にも「We Serve!」「ライオンズクラブの一員として奉仕したい！」という欲求が生まれました。

正直に言いますと、それまでは誘われるままにクラブに入会し、活動に参加していました。まさしく国際会長の言葉の通り、国際大会への参加が私の転機となったのです。大げさに言えば、あの瞬間に真のライオンとなったと言えるのかもしれません。

来年は日本で国際大会が開催されます。たくさんの会員の皆さんに私の味わった感動を体験して頂きたいと切に願うのです。

熊本県・免田ライオンズクラブ●那須弘紹

●ライオン誌事務所来訪者芳名録

2・2 大阪府守口 松本 佳久
2・3 東京鶯谷 寺田 義和
2・6 山形県天童舞鶴 関 忠則
2・6 山形県天童舞鶴 寒河江潤一
2・6 山形県天童舞鶴 山口 秀悦
2・10 東京 池崎 道男

## 読者プレゼント

■静岡県河津町の荒塩を読者10人に

今月号「ふるさと探訪」（49〜53ページ）に登場した河津町で作られた「満月の塩」を、10人の読者にプレゼントします。海中のミネラル濃度が最大になる大潮の日に採取した海水のみを使い、独自の製法で1週間炊き上げた㈱天城カントリー工房（土屋宗一郎代表取締役／河津ライオンズクラブ会長）の荒塩です。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「荒塩」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は4月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1
築地細田ビル7階　ライオン誌事務所
＊オンライン応募はライオン誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp）の「ライオン誌日本語版」→「プレゼント応募」から。

〈56ページクイズの解答〉第1問=c.／第2問=b.／第3問=a.／第4問=b.／第5問=b.

●1984年8月号　獅子吼

# 「眼鏡の曇り」

葛西善一郎（北海道・函館ライオンズクラブ）

『ライオン誌』バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

神経質な人は、1日に何回となく眼鏡を拭くし、無頓着な人は2～3日、あるいは1週間も拭かず、曇った眼鏡を掛けている。日常生活の中での眼鏡の曇りに大きな実害はないが、心の眼鏡の曇りとなると、話は違ってくる。また眼鏡は視力を調節するもの。老化や病気で視力が低下すると同じ眼鏡をいつまでも掛けているわけにはいかなくなり、時々掛け替えたり、二つの眼鏡を使い分けたりする必要が生じてくる。最近、視力障害者への事業に二つ続けて出席して感じたことが2～3あって、心の眼鏡も時々注意して掛け替えたり、曇りを拭ったりする必要があることを痛感した。

一つは函館朗読奉仕会への録音テープ寄贈だ。この会は詩や小説をテープに録音して、盲人のための図書館づくりを目指している婦人ばかりのボランティア・グループである。

今年で4回目になる事業だが、私は今回初めてその贈呈式に出席した。その時、朗読奉仕会の会長が「何度もこの活動をやめようと思うこともあったが、盲目の人たちから感謝の言葉や手紙を頂き、また私たちを陰で支えてくださるライオンズクラブ始め多くの人々や団体の存在が励ましになった。自分たちでお金を出し合ってもテープを買えるが、それだと皆さん方の励ましに触れる機会を失うことになる」とおっしゃっていた。この言葉を聞いた時、私はハッと思った。

金品の贈呈式には会長と担当委員長、委員数名が出席すれば十分で、多忙な仕事の時間を割いて多くの会員が参列する必要はないのではないかと今まで考えていた。その考えの甘さをグサリと指摘された感じであった。

奉仕活動とは、金品や労力の提供だけでは決してなく、そこに多くの人の心が流れていなければならないと気付いたのである。当たり前と言えば当たり前のことを今まで素通りしていたのだ。そんな心の眼鏡の曇りを拭き取るには、直接贈呈式に立ち会って、その人たちの生の声を開く必要があったのである。

もう一つは函館視力障害センターへの野球用ユニフォーム一式の寄贈の時で、同時に当クラブ野球部と盲人ルールによる親善試合を行うことになっていた。このセンターは中途失明者のリハビリテーション施設である。残念ながら当日は雨で、野球に代わり、屋内でバレーボールの試合が行われたが、盲人ルールに慣れていないためか、10対5で当クラブのチームが敗れた。試合を見て、そのスピードと迫力と真剣さには目を見張った。

盲ろう教育後援会の会報でこのセンターの実情はある程度知っていたが、実際に中に入ってみると、その明るい雰囲気や、職員の熱意と愛情、施設の充実などがよく理解出来る。試合が終わって双方の選手が握手し合っているのを見て、感動した。

今度の交流を通じて、私は次のことを学んだ。それは、支える・支えられる、与える・与えられるという問題ではなく、心の交流というものはどんな障害があっても、それを望む努力が双方にあれば、温かい血液が流れ始めるのに、時間はそんなにかからないということである。

眼鏡を拭ったり、取り替えたり、私の残りの人生を忙しいものにしようと思う。

# ライオン誌例会のススメ
## ―次の例会ですぐ使える情報

### ライオンズ百科

**■女性国際会長の就任はいつ？**

『ライオン誌』本部版（英語）に「Ask A Lion（ライオンに尋ねよう）」のコーナーがある。今年1月号の回答者は、ジョー・プレストン国際会長。「いまだに女性が国際会長に就任していないのはなぜですか？」というライオンジョアン・クラーク・マクスウェル（カナダ／チリワック・ステラーズ・ジェイライオンズクラブ）の質問に対して、次のように答えている。

「女性国際会長が誕生する日は近付いています。昨年は初めて、複合地区の推薦を受けた女性ライオンが国際第2副会長に立候補しました。そもそも女性の立候補者がいなければ選出される可能性は無いわけですから、これは大きな一歩でありました。立候補に意欲を示す女性ライオンは他にも現れており、私は女性国際会長誕生の日は間もなく訪れると信じています」

ちなみに昨年のトロント国際大会の選挙に向けて国際第2副会長に立候補した女性ライオンは、ブラジルのローザンニ・ジャンキ・ハイラッティ元国際理事だ。初の女性国際会長がいつ、どの国から生まれるのか、楽しみなところだ。

### この日・この月

**1964年4月1日、観光渡航が解禁されて、**自由に海外旅行が出来るようになった。解禁後、渡航先として人気を集めたのは、今年6月に国際大会が開かれるハワイ。この解禁を見通して、61年にはサントリーウィスキーが「トリスを飲んでハワイへ行こう！」のテレビCMを放映。63年に製作された加山雄三主演若大将シリーズの第4弾「ハワイの若大将」が大ヒットするなど、「夢のハワイ」への憧れをかきたてた。

この海外旅行自由化に先立つこと3年、兵庫県・神戸イーストライオンズクラブの提案による第1回日米夏期学生交換計画が、61年7月に実現している。後のYCEにつながるこの計画は、兵庫県とアメリカ・カリフォルニア州のライオンズの間で行われた。神戸から出港した日本の若者たち9人は、経由地ハワイ・ホノルルで地元ライオンズの歓迎を受けてアメリカ西海岸へと渡り、6週間のホームステイを体験した。

### クイズ de 例会

〈第1問〉ライオンズクエスト・プログラムが青少年に育むものは？

a. 学ぶ力　b. 遊ぶ力
c. 生きる力

〈第2問〉悪質な事件が相次ぐ危険ドラッグ。警察庁と厚生労働省がこの名称を採用したのは何年？

a. 2013年　b. 2014年
c. 2015年

〈第3問〉第54回OSEALフォーラムが開かれる国は？

a. タイ　b. 韓国
c. シンガポール

〈第4問〉山田實紘国際第1副会長は来年度、第何代目の国際会長になる？

a. 98代目　b. 99代目
c. 100代目

〈第5問〉2016年福岡国際大会は第何回目？

a. 98回　b. 99回
c. 100回

★回答は54ページ下

### 4月号予告

**特集 障害者スポーツ**

スポーツの喜びや感動は、障害の有無にかかわらず掛け替えのないもの。北海道・函館元町ライオンズクラブが支援する車椅子バスケットボールクラブと、ロンドン・パラリンピックの車椅子マラソンで5位入賞を果たしたライオン花岡伸和（千葉県・市川ライオンズクラブ）を取材する。

編集室

# 次の100年を見据えて

ライオン誌
日本語版編集長
◉
佐藤義則
（宮城県・蔵王）

　山田實紘国際第1副会長の勤務する木沢記念病院は、遠くからでも十字のロゴマークが確認出来るひときわ大きな病院だ。入り口のパネルに何十人もの医師の名が並び、一番上に「理事長 山田實紘」とあった。建物は新しくはないが、自らの病を転機に医療改革に取り組まれたというだけあって、常に医療サービスの向上に尽くしてこられたのだろう、連絡通路でつながる関連施設がいくつも設けられている。駐車場とのシャトルバスも運行されており、地域の中核病院であることを一目で感じた。

　山田国際第1副会長へのインタビュー取材（今月号増刊掲載）は、理事長室の隣にある応接室で行われた。インタビューでは、国際会長として与えられた1年間に何をやるかよりも、今後100年ライオンズクラブを継続するにはどうしなければならないかという思いが語られた。これまでの国際会長が1年任期の中でチャレンジしてきたことを有機的にまとめ、それをどのようにクラブの活動に反映させていくか？ いかに自分のカラーを出すのかではなく、将来につながるアクティビティや組織の形をまとめていきたいと考えておられるように感じた。

　終了後、理事長室に案内された。「看護部長室より狭い」そうだが、壁面にはびっしりと専門書が並んでいた。中には本人の研究業績の書籍もあるようだ。「ライオンズ関係の資料は少々片付けた」との言葉通り、本棚の1段程度だった。副会長就任後は診察時間はほとんど取れないようだが、患者の命に対し医療がどう向き合えばよいのかを基軸にされているように感じた。

　国際第1副会長の立場から、日本ライオンズを語ることはあえて避けておられるようであったが、最後に「今後の日本からの国際会長輩出のタイミングはどのくらいが適当ですか？」と質問してみた。「7～8年ごとのタイミングが良いだろう」との返答であった。

　インタビューを終えて、ライオンズクラブの次の100年に思いをはせながら帰路に着いた。


Official publication of Lions Clubs International


Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org



ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20カ国語で発行される－英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

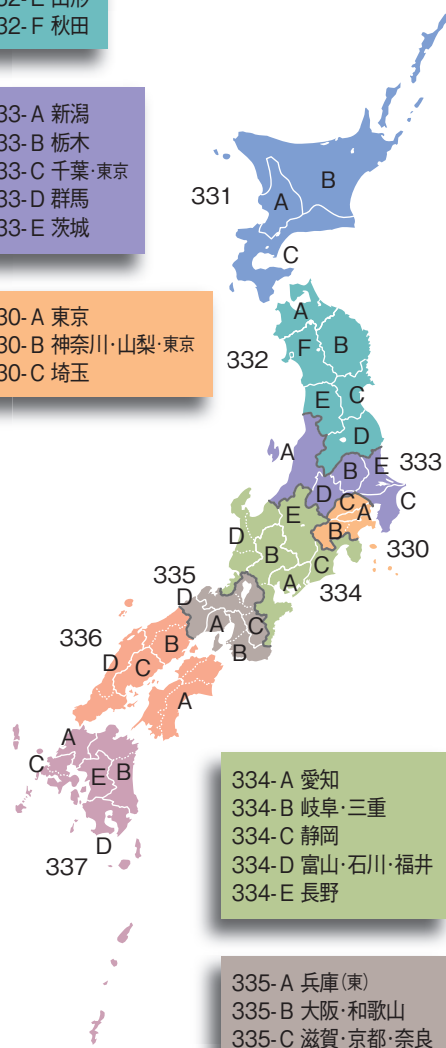




ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571（代）　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website: www.thelion-mag.jp

# 日本ライオンズクラブ分布図

2015.2.28　eMMR ServannA報告による

| 地区 | クラブ数 | 会員数 | 増減 | 男女別会員数 男性 | 女性（割合） | 家族会員数 子会員 | 増減 | 男性 | 女性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 330-A | 203 | 6,491 | 924 | 4,768 | 1,723（26.5） | 1,740 | 609 | 562 | 1,178 |
| 330-B | 166 | 4,926 | 274 | 4,079 | 847（17.2） | 613 | 184 | 159 | 454 |
| 330-C | 90 | 2,507 | 165 | 2,012 | 495（19.7） | 397 | 114 | 113 | 284 |
| 330 計 | 459 | 13,924 | 1,363 | 10,859 | 3,065（22.0） | 2,750 | 907 | 834 | 1,916 |
| 331-A | 74 | 2,849 | 233 | 2,316 | 533（18.7） | 488 | 201 | 101 | 387 |
| 331-B | 86 | 2,742 | 155 | 2,267 | 475（17.3） | 401 | 167 | 51 | 350 |
| 331-C | 52 | 1,929 | 137 | 1,625 | 304（15.8） | 279 | 97 | 72 | 207 |
| 331 計 | 212 | 7,520 | 525 | 6,208 | 1,312（17.4） | 1,168 | 465 | 224 | 944 |
| 332-A | 64 | 2,118 | 152 | 1,667 | 451（21.3） | 330 | 90 | 68 | 262 |
| 332-B | 53 | 2,400 | 162 | 1,612 | 788（32.8） | 752 | 112 | 104 | 648 |
| 332-C | 70 | 1,785 | 112 | 1,322 | 463（25.9） | 424 | 87 | 82 | 342 |
| 332-D | 73 | 2,472 | 145 | 1,923 | 549（22.2） | 493 | 87 | 103 | 390 |
| 332-E | 56 | 2,023 | 197 | 1,621 | 402（19.9） | 336 | 153 | 52 | 284 |
| 332-F | 46 | 1,435 | 57 | 1,052 | 383（26.7） | 312 | 42 | 44 | 268 |
| 332 計 | 362 | 12,233 | 825 | 9,197 | 3,036（24.8） | 2,647 | 571 | 453 | 2,194 |
| 333-A | 75 | 3,373 | 87 | 2,624 | 749（22.2） | 730 | 52 | 162 | 568 |
| 333-B | 53 | 1,645 | 60 | 1,098 | 547（33.3） | 430 | 15 | 98 | 332 |
| 333-C | 136 | 3,917 | 92 | 2,990 | 927（23.7） | 742 | 53 | 267 | 475 |
| 333-D | 53 | 2,401 | 155 | 1,753 | 648（27.0） | 656 | 94 | 149 | 507 |
| 333-E | 79 | 4,432 | 707 | 2,964 | 1,468（33.1） | 1,609 | 627 | 409 | 1,200 |
| 333 計 | 396 | 15,768 | 1,101 | 11,429 | 4,339（27.5） | 4,167 | 841 | 1,085 | 3,082 |
| 334-A | 120 | 7,136 | 975 | 4,809 | 2,327（32.6） | 2,352 | 920 | 475 | 1,877 |
| 334-B | 81 | 5,549 | 303 | 3,568 | 1,981（35.7） | 2,346 | 221 | 546 | 1,800 |
| 334-C | 82 | 3,821 | 188 | 3,020 | 801（21.0） | 756 | 148 | 96 | 660 |
| 334-D | 99 | 6,283 | 356 | 4,018 | 2,265（36.0） | 2,395 | 241 | 416 | 1,979 |
| 334-E | 52 | 2,638 | 210 | 1,907 | 731（27.7） | 744 | 154 | 198 | 546 |
| 334 計 | 434 | 25,427 | 2,032 | 17,322 | 8,105（31.9） | 8,593 | 1,684 | 1,731 | 6,862 |
| 335-A | 85 | 2,217 | 63 | 1,778 | 439（19.8） | 172 | 0 | 20 | 152 |
| 335-B | 174 | 6,759 | 605 | 5,000 | 1,759（26.0） | 1,440 | 511 | 301 | 1,139 |
| 335-C | 119 | 4,211 | 388 | 3,549 | 662（15.7） | 395 | 328 | 84 | 311 |
| 335-D | 65 | 2,053 | 89 | 1,660 | 393（19.1） | 270 | 94 | 73 | 197 |
| 335 計 | 443 | 15,240 | 1,145 | 11,987 | 3,253（21.3） | 2,277 | 933 | 478 | 1,799 |
| 336-A | 149 | 6,417 | 156 | 4,826 | 1,591（24.8） | 1,199 | 129 | 210 | 989 |
| 336-B | 98 | 3,226 | 129 | 2,743 | 483（15.0） | 222 | 41 | 37 | 185 |
| 336-C | 100 | 3,294 | 59 | 3,037 | 257（ 7.8） | 40 | 16 | 8 | 32 |
| 336-D | 96 | 3,289 | 79 | 2,891 | 398（12.1） | 206 | 17 | 19 | 187 |
| 336 計 | 443 | 16,226 | 423 | 13,497 | 2,729（16.8） | 1,667 | 203 | 274 | 1,393 |
| 337-A | 115 | 5,716 | 1,010 | 4,164 | 1,552（27.2） | 1,249 | 946 | 266 | 983 |
| 337-B | 69 | 3,095 | 580 | 2,230 | 865（27.9） | 850 | 536 | 165 | 685 |
| 337-C | 82 | 4,207 | 647 | 2,839 | 1,368（32.5） | 1,344 | 615 | 375 | 969 |
| 337-D | 80 | 2,451 | 158 | 2,140 | 311（12.7） | 153 | 119 | 30 | 123 |
| 337-E | 59 | 1,709 | 105 | 1,458 | 251（14.7） | 122 | 50 | 37 | 85 |
| 337 計 | 405 | 17,178 | 2,500 | 12,831 | 4,347（25.3） | 3,718 | 2,266 | 873 | 2,845 |
| 総計 | 3,154 | 123,516 | 9,914 | 93,330 | 30,186（24.4） | 26,987 | 7,870 | 5,952 | 21,035 |

## 世界のライオンズ

2015.2.28　国際協会集計

国または領域………210　クラブ数 ………46,494
会員数 ……1,389,045　会員数増減……28,926

# LION 電子版

2009年7月号から配信を開始したライオン誌電子版は、2014年8月号にはスマートフォンやタブレットにも対応。専用アプリを使用することで、スマホやタブレットからはオフラインでも閲読出来るようになりました。更に、この2015年3月号からはオーディオ版も付加。各ページの下方隅に表示されているサウンドアイコンをクリックすると、記事が読み上げられます。

また、ライオン誌ウェブマガジンには、2015年1月号以降のオーディオ版視聴ページを設けました。左側のメニュー「オーディオ版」から入り、各号の表紙をクリックすると、記事のタイトルが一覧になったページにジャンプします。ここでお聴きになりたい記事のタイトルをクリックするか、最下部にあるファイルをダウンロードして、MP3対応のプレイヤーやパソコンのアプリケーションなどで再生してください。

A Message From Our President

Joe Preston
Lions Clubs International President

LCIFは仲間の奉仕を支援する手段

妻のジョニと私はライオンズ会員であり、同時に子を持つ親でもあります。ですから、最近ケニアのナイロビにある小学校を訪問した時には大変うれしく思ったものです。そこでは300人余りの愛らしい子どもたちが視力検査を受けており、私たち夫婦は眼鏡が必要な児童にそれを手渡す機会に恵まれました。彼らの笑顔と私たちの笑顔と、どちらが大きかったか分かりません。そして皆さんもまた、誇りに満ちたほほ笑みを浮かべることが出来るのです。なぜなら、検査を実現させたのはLCIFであり、そのすばらしい奉仕事業は皆さんのようなライオンズによって可能となっているからです。

ケニアは恐らく皆さんにとって身近な場所ではないでしょう。「そうか、LCIFはどこか遠くの発展途上国で人々を支援しているのだな」と思われる方もいるかもしれません。確かに、LCIFは貧しい地域で必要に迫られている人々に手を貸しています。ライオンズはLCIFを通じて視力を回復させ、人々をはしかから守り、被災者が立ち直れるよう手助けし、その他にも数々の取り組みを実現させています。私はそのことに誇りを感じます。

しかし、私たちの財団は先進国でも多くの人々を支援し、ご自身の地元や近隣地域でも活躍しているはずです。先進国での事業に対する最近のLCIF交付金としては、アメリカのコロラド州でロッキーマウンテン・ライオンズ眼科研究所に視力検査機器を提供するための10万ドル、オハイオ州で障害者用の遊び場を整備するための7万5千ドル、カナダのトロントでライオンズ・アイケア・センターに設備を提供するための10万ドルなどが挙げられます。

LCIFはクラブ単独では実現出来ない大規模な奉仕事業を実現させる手段であり、ライオンズのあるべき姿の論理的延長として捉えるべきです。私たちがライオンズに加わるのは、同じ志を持つ仲間と一丸となった時、自らの奉仕の効果が高まるからです。LCIFを支援するのは、個々の資金が一つの財団に蓄えられた時、はるかに多くを成し遂げられるようになるからです。LCIFを通して、私たちは互いに他者を支援する手助けをしています。ライオンズは政府や他の市民団体には不可能な奉仕を提供することが出来、実際に提供しているのです。

どうか時間を割いて今月号26ページの「LCIF年次報告」に目を通してください。ライオンであることの意義に疑問を感じていたり、ライオンズの奉仕の内容や範囲がよく分からなかったとしても、この記事を読めばその一員としての誇りで胸がいっぱいになるはずです。「誇りを高める」確実な方法の一つは、ライオンズの本質と活動への理解を深めることです。そうすれば、自然にほほ笑みが浮かんでくるでしょう。

2014-15年度国際会長
ジョー・プレストン

※このメッセージの原文は国際協会公式ウェブサイトに掲載されています
http://www.lionsclubs.org/EN/about-lions/our-leadership/meet-the-leaders/presidents-message.php

LION 2015年3月号 4

LION 2015年3月号 4

ページ隅のサウンドアイコンをクリックすると、記事が読み上げられます

電子版専用アプリは、コベック社が無料で提供しているカタログビューア「Wisebook3 OpenViewer」で、iPhoneやiPadなどのiOSはApp Storeから、他のAndroid系スマートフォンやタブレット用はGoogle Playから無料でダウンロード出来ます。

■Wisebook3 OpenViewer（Android版）

Android版のGoogle Playダウンロード・ページ
play.google.com/store/apps/details?id=jp.wisebook.openviewer

■Wisebook3 OpenViewer（iOS 版）

iOS版のApp Storeダウンロード・ページ
itunes.apple.com/jp/app/wisebook3-openviewer/id544678353

※ライオン誌のライブラリー（書庫）には、次のログインIDとパスワードを入力してお入りください。

アカウントID：thelion
ログインID：jp
パスワード：tsukiji221

# 復興屋台村 気仙沼横丁

**【屋台】**

●あたみ屋（ラーメン）●まぐろ亭（まぐろ料理）●鮮味定食（季節の創作料理）●男子厨房 海の家（郷土料理居酒屋）●炭火焼・鳥徳（焼鳥）●はまらん家（はまらん焼き居酒屋）●ひのき（居酒屋）●Stray Sheep（ショットバー）●たすく（本手打ちうどん居酒屋）●七輪屋（立呑み炭火焼）●デジコンジュ豚姫（韓国料理）●大漁丸（まぐろ料理）●cafe&dining BUGGY（カフェ・ダイニング）●ごはん処 まるげん（食堂）

**【物販】**

●浜市（鮮魚店）●及庄海草店（海産物店）●魚福（鮮魚店）●宮川商店（八百屋）●リアスの国から（海産物店）●気仙沼横丁弁当事業部（宅配弁当）

**復興屋台村 気仙沼横丁**
宮城県気仙沼市南町4丁目2-19
http://www.fukko-yatai.com/
https://www.facebook.com/fukkoyatai

気仙沼横丁はLCIFの東日本大震災指定交付金を受けました

ライオン誌4月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可　定価180円　送料実費78円
2015年(平成27年)3月20日発行　毎月1回20日発行　第57巻第10号
発行所　ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所　〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　Tel 03-3542-9571
印刷所　凸版印刷株式会社